

交通安全こどもセンタートイレ改築工事

意匠図		構造図		解体図		電気設備図		
A-00	表紙	B-01	構造関係共通図(構造関係共通事項)	K-01	解体配置図	1:500	E-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書(1)	B-02	構造関係共通図(配筋標準図(1))	K-02	解体撤去図	1:50	E-02	電気設備機材指定表
A-02	特記仕様書(2)	B-03	構造関係共通図(配筋標準図(2))				E-03	配置図・附近見取り図
A-03	特記仕様書(4)	B-04	構造関係共通図(配筋標準図(3))				E-04	構内線路図・盤結線図
A-04	特記仕様書(5)	B-05	構造関係共通図(配筋標準図(4))				E-05	電灯設備図
A-05	特記仕様書(6)	B-06	特記仕様書(木工事)軸組工法(1)				E-06	電灯(コンセント)・トイレ呼出設備図
A-06	特記仕様書(7)	B-07	特記仕様書(木工事)軸組工法(2)					
A-07	特記仕様書(8)	B-08	特記仕様書(木工事)軸組工法(3)					
A-08	特記仕様書(9)	B-09	特記仕様書(木工事)軸組工法(4)					
A-09	特記仕様書(10)	B-10	特記仕様書(木工事)軸組工法(5)					
A-10	附近見取り図・配置図	1:500	B-11	特記仕様書(木工事)軸組工法(6)				機械設備図
A-11	敷地面積求積図	1:500	B-12	特記仕様書(木工事)軸組工法(7)			(特記)01	特記仕様書(1)
A-12	仕上表・面積表	1:100	B-13	特記仕様書(木工事)軸組工法(8)			(特記)02	特記仕様書(2)
A-13	平面図・屋根伏図・断面図・天井伏図	1:100	B-14	表層改良工法特記仕様書			(標準図)04	特記仕様書(3)県標準図
A-14	立面図	1:100	B-15	構造伏図・構造詳細図	1:20・1:100		(標準図)05	特記仕様書(4)県標準図
A-15	矩計図	1:30					M-01	機械設備 工事概要・附近見取り図・配置図
A-16	平面詳細図・展開図	1:50					M-02	機械設備 平面図
A-17	建具配置図・建具表	1:50						
A-18	部分詳細図	1:5・1:10・1:20						
A-19	外構図	1:500・1:100						
A-20	仮設計画図	1:500						

特記仕様書（建築工事編）
I 工事概要
1. 工事場所 高知市比島町4丁目8番地(地名地番：比島町801-1) (都市計画区域 (内)・外)
2. 敷地面積 13.355.84 m2
3. 構造・規模 RC造(木造小屋組)・1階
4. 建築面積 27.78 m2
5. 延床面積 24.36 m2
6. 主要用途 トイレ
II 建築工事仕様
1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という)による。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は()図、機械設備工事の工事仕様書は()図による。
(3) 受注者は完了検査(中間検査を含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の(別図-)は、標準仕様書の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。
(5) [G]印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月8日変更閣議決定)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。
(6) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

1 各章共通事項
1 適用基準及び区分
※ 建築工事監理指針(上下巻) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版)
※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版)
・ 鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・ 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会
※ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)
※ 建設副産物適正処理推進要綱
※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。
区分等 基準風速 Vo=()m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表()
2 電気保安技術者
・適用する ・適用しない (1.3.3)
3 施工条件
施工時間帯 ※指定なし ○指定有り(協議による) (1.3.5)
部位別の施工順序 ※指定なし ・指定有り()
4 工事安全計画書
建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画(1.3.7)書を監督職員に提出する。
5 発生材の処理
・引き渡しを要するもの() (1.3.11)
・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:)
・現場において再利用を図るもの()
○再生資源化を図るもの(○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材)
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
6 アスベスト成形板の処理等
処理を行うアスベスト成形板の仕様
・石綿スレート ・石綿セメント板 ・けい酸カルシウム板
・ロックウール化粧吸音板 ・ビニル床タイル ・その他
施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
(1) アスベスト成形板使用部位の確認
図面に記載されている使用範囲のみならず、広く確認を行う。
(2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認
(3) アスベスト成形板使用数量の確認
(4) 施工範囲と工事管理区分の確認
7 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策
※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。
対象建築材料等 使用制限
1合板、木質フローリング、構造用パネ、集成材、単板積層板、MDF、パネイクルボード、ウレ樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材 F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする
2塗料 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しない水性系のものとする
3木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする
4内装用接着剤、木工用接着剤 1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする
2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする
5家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台 1234の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する

8 材料の品質等
室内に関わる材料は(上記②~④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、カドミウム、鉛、イソシアネート、フェノール類の有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。
本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。
1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
3) 安定的な供給が可能であること。
4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。
製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について(通知)」による証明書等を、監督職員に提出する。
9 技能士
工事種目 技能検定職種 技能検定作業
仮設工事 とび ・とび作業
鉄筋工事 鉄筋施工 ・鉄筋組立て作業
コンクリート工事 型枠施工 ・型枠工事作業
コンクリート圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事 鉄工 ・構造物鉄工作業
とび ・とび作業
コンクリートロック・ALCAパネル・押出成形セメント板工事 フロック建築 ・コンクリートロック工事作業
エーエスシーパネル施工 ・エーエスシーパネル工事作業
防水工事 防水施工 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・アクリルゴム系塗膜防水工事作業
・合成ゴム系シート防水工事作業
・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業
・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業
・改質アスファルトシート防水工事作業
・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業
石工事 石材施工 ・石張り作業
タイル工事 タイル張り ・タイル張り作業
木工事 建築大工 ○大工工事作業
枠組壁建築 ・枠組壁工事作業
屋根及びとい工事 建築板金 ・内外装板金作業
かわらぶき ・かわらぶき作業
金属工事 内装仕上施工 ・鋼製下地工事作業
建築板金 ・内外装板金作業
左官工事 左官 ・左官作業
建具工事 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業
ガラス施工 ・ガラス工事作業
自動ドア施工 ・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事 カーテンウォール施工 ・金属製カーテンウォール工事作業
サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業
ガラス施工 ・ガラス工事作業
塗装工事 塗装 ・建築塗装作業
内装工事 内装仕上施工 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業
木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業
化粧フィルム工事作業
熱絶縁施工 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業
表装 ・壁装作業
排水工事 配管 ・建築配管作業
舗装工事 路面表示施工 ・溶解ヘインターカー工事作業 ・加熱ヘインターミンカー工事作業
植栽工事 造園 ・造園工事作業
10 見本施工
・行う(内容) ※行わない
11 室内空気中の化学物質の濃度測定
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること
測定対象室及び測定箇所数 ※図示(仕上準備欄) ・()か所
12 特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
13 完成時の提出図書
※作成図(作成範囲 ※配置図 ※各階平面図 ※各立面図 ※断面図 ※仕上表)
※完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R) ・しない)
※記入内容は標準仕様書(表1.7.1)による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。
※施工計画書(A4ファイル綴じ 提出部数:1部)
※施工図(CADデータ 提出部数:1部)
※安全に関する資料(提出部数 ※1部 ・部)
※下記のことを監督員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て写すこと。
区分 分類規格 提出部数 部数
着工前及び工事中 カラー ※サービス版 工程毎 1部
カラー ※キャビネ版 1枚 1部
完成時 カラー ・全紙版(7R3額縁入) 1枚 1部
・ 枚 部
デジタル写真も可とし、その仕様も含め1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックを参照すること。
・デジタルカメラで撮影された工事写真(CD-R共提出)
※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。

15 施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る著作権は、発注者に委譲するものとする。
16 設備工事との取り合い
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
施工範囲 区分
梁貫通部の補強 ※本工事 ・別途工事
梁貫通部のスリーブ ・本工事 ※別途工事
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアフィッパ、ドアヒンジ ※本工事 ・別途工事
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強 ※本工事 ・別途工事
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ・本工事 ※別途工事
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強 仮枠 補強 ※本工事 ・別途工事
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ・本工事 ※別途工事
電気室、自家発電室などのピット(蓋含む) ※本工事 ・別途工事
17 設計GL
※図示
2 仮設工事
1 足場その他
足場を設ける場合、標準仕様書2.2.4によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙1(手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。(2.2.4)
外部足場に設ける防護シート等
・養生シート※JISA8952のI類に適合するもの
(建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの)
・防音シート ・採光防音シート ・養生ネット
2 監督職員事務所
・設ける 規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書(施工条件明示)による。
※設けない (2.3.1)
3 工事用水
構内既存の施設 ○利用できる(☒有償 ・無償) ※利用できない
4 工事用電力
構内既存の施設 ○利用できる(☒有償 ・無償) ※利用できない
3 土工事
1 埋戻し及び盛土
材料及び工法 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]
C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書(施工条件明示)による。
D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件明示)による。(3.2.3)(表3.2.1)
2 建設発生土の処理
※構外搬出適切処理 (3.2.5)
構外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
なお、処理にあたっては、「建設発生土情報交換システム」を活用する。
・構内指定場所に敷き均し
・構内指定場所に堆積
3 山留めの撤去
山留め壁等の存置 ・行う ・行わない (3.3.3)
4 騒音振動の防止
低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。
4 地業工事
1 支持地盤及び試験
支持層の位置及び土質 (4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)
・() ○図示
試験杭の位置、本数及び寸法 (4.2.2)
・() ・図示
杭の載荷試験 (4.2.3)
・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験
試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・() ・図示
報告書の記載事項 ・標準仕様書4.2.5による ・図示
地盤の載荷試験 (4.2.4)
・平板載荷試験
試験位置及び載荷荷重 ・() ・図示
報告書の記載事項 ・標準仕様書4.2.5による ・図示
2 既製コンクリート杭地業
寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) ※図示 (4.3.3)
杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形
工法
・セメントミルク工法 (4.3.4)
掘削深さ、杭の支持層への根入れ深さ ※図示 (4.3.5)
杭の根入れ深さ ※図示
杭の精度 (4.3.4)(4.3.5)
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・()
杭の傾斜 ・1/100以内 ・()
杭継手工法 (4.3.6)
・アーク溶接継手
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 ・()
検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 ・()
施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による ・()
杭頭の処理 ・処理しない ・処理する (4.3.8)
処理方法(切断ともなる補強方法含む) ・() ・図示
杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調のもの ・()
特記仕様書(建築工事編)(1)
平成31年度版 高知県土木建築課
令和3年3月
交通安全子どもセンタートイレ改築工事
令和2年7月改正
NO
A-01
松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一般建築士大臣登録第322947号 松本琢史

3 鋼杭地業	寸法、継手、性能等（種別：種類、性能） ※図示 (4.4.3)	④鉄筋の定着長さ	○構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による (5.3.4)	6 軽量コンクリート	種別 (6.10.2) (表6.10.1)
	杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形		・1種 使用部位 () ・2種 使用部位 ()		
	工法 (4.4.4)		・図示 (6.10.2)		
	・特定埋込杭工法		7 無筋コンクリート		適用箇所 (6.14.1)
	・杭の根入れ深さ ※図示				・標準仕様書 6.14.1(4) による箇所
	杭の精度 (4.3.5)(4.4.4)				・標準仕様書 6.14.1(4) 以外の箇所
	水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・ ()				・ () ・図示
	杭の傾斜 ・1/100以内 ・ ()		設計基準強度 (6.14.1)		
杭継手工法 (4.3.6)(4.4.5)	・18 (N/mm) ² ・ ()				
・溶接継手	スランプ (6.14.1)				
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)	・15cm ・18cm ・ ()				
工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 ・ ()	⑧ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法 (6.6.4)(9.7.3)			
検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 ・ ()		○標準仕様書 9.7.3による ・ ()			
施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による ・ ()		間隔・位置・形状 (6.8.1)			
杭頭の処理 ・処理しない ・処理する (4.3.8)(4.4.6)		・ () ○図示			
処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ () ・図示		⑨コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.8.3)(表6.2.4)		
杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・ ()			種別 適用箇所		
4 場所打ちコンクリート杭地業			工法 (4.5.1)	○A種 地上部 打放し仕上面	
			・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法	・B種	
	・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法	○C種 地中部、タイル仕上面			
	鉄筋の種類、加工及び組立(帯筋、最小かぶり厚さ、鉄筋かごの補強、継手工法) ※図示 (4.5.4)	コンクリートの仕上りの平たんさ (表6.2.5)			
	コンクリート (4.5.4)	・a種 ・b種 ・c種			
	セメントの種類 ・高炉セメントB種 [G] ・ ()	⑩打増し厚さ(打放し仕上げ部)	○打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1)		
	設計基準強度 () N/mm ² スランプ ・18cm ・ () cm		○20mm ・ ()		
	鋼管の材料 ・ () ・図示		○打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)		
杭の支持層への根入れ深さ ※図示 (4.5.5)(4.5.6)	・10mm ○20mm ・ ()				
杭の精度	⑪型枠	せき板の材料 [G] 及び厚さ (6.8.2)			
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・ ()		○合板(○12mm ・15mm)			
杭の傾斜 ・1/100以内 ・ ()		○(杉板型枠 t=15)			
孔壁測定 ・行う(内容:) ・行わない		断熱材の兼用 (6.8.2)			
⑤砂利及び砂地業		材 料 (4.6.2)	○行わない ・行う		
		砂利 ※再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石	MCR工法用シート (6.8.2)		
		砂 ・シルト ・山砂、川砂又は砕砂	・用いる		
		厚 さ ・60mm ・ () mm ○図示 (4.6.3)	打増し厚さ		
	適用箇所	・20mm ・ ()			
	・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ○図示	打増し範囲			
	⑥捨コンクリート	捨コンクリートの厚さ (4.6.4)	・ () ・図示		
		○50mm ・ () mm	○用いない		
適用箇所 (6.14.1)		スリーブの材種 (6.8.2)(表6.8.1)			
○基礎梁下、土に接するスラブ下		○標準仕様書 6.8.2(9)(イ)及び標準仕様書表6.8.1による ・ ()			
・図示()		⑬コンクリートの単位水量測定	実施要領		
コンクリートの種類 (6.14.1)			○構造関係共通図(構造関係共通事項) 構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの		
○普通コンクリート ・ ()			単位水量測定による		
設計基準強度 (6.14.1)			・ ()		
○18N/mm ² ・ () N/mm ²	5 鉄筋工事		①鉄筋	鉄筋の種類等 (5.2.1)(表5.2.1)	
スランプ (6.14.1)				○SD295A D10 D13 D16 備考	
○15cm ・18cm ・ () cm				・SD345	
⑦床下防湿層				施工範囲 (4.6.5)	・
		○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) ・図示		・	
		防湿工法 (4.6.2)		・	
		○ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上		軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.1~4)(6.10.1~2)(表6.2.2)	
		○図示		設計基準強度 (N/mm ²) スランプ 適用箇所	
	⑧地盤改良	②コンクリートの種類	・		
			・		
			・		
・					
・					
・					
・					
・					
⑨コンクリートの単位水量測定	③セメント	種類 (6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1)			
		○普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位()			
		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする。			
		・高炉セメントB種 [G] 使用部位()			
		・フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位()			
		・			
		・			
		・			
⑩鉄筋の継手	④骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)			
		※A ・B ・再生骨材H			
		本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。			
		・			
		・			
		・			
		・			
		・			
⑪鉄筋の定着長さ	5 混和材料	・混和剤 (6.3.1)(6.3.2)			
		混和剤の種類			
		・標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・ ()			
		・混和材			
		混和材の種類			
		・標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・ ()			
		・			
		・			

特記仕様書(建築工事編)(2)

平成31年度版 高知県土木部建築課

令和3年3月

交通安全こどもセンタートイレ改築工事

令和2年7月改正

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates
一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

NO
A - 02

22 軽量形鋼構造	接合部(ボルト接合の場合) ・普通ボルト接合 ()		(7.11.2)			
	種別等		(7.12.4)(表14.2.2)			
23 溶融亜鉛めっき (基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要部分に限る)	亜鉛めっきの種類		材料			
	A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板		適用部位		
	B種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板				
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板					
素地ごしらは、JIS H 8641 による		適用箇所 () ・ 図示				
24 梁貫通孔の補強	補強方法		補強プレート法 () 補強トラス法 ()			
	適用箇所 ()		・ 図示			
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工	① 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 (8.2.2)				
		断面形状及び圧縮強さによる区分		正味厚さ(mm)		
				呼び呼び寸法(mm) 長さ 高さ		
				化粧の有無		
				適用箇所 備考		
	各部の配筋 ※図示		(8.2.5)			
	まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートの充填範囲 ※図示		(8.2.8)			
	② コンクリートブロック横壁及び壁	ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)				
		断面形状及び圧縮強さによる区分		正味厚さ(mm)		
				呼び呼び寸法(mm) 長さ 高さ		
		化粧の有無				
		表(8.3.1)以外の適用箇所 備考				
・空洞ブロックD8				※無・有		
◎空洞ブロックC(16)		・120 ○100 ・150		390 190		
				※無・有		
各部の配筋 ※図示		(8.2.5)				
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートの充填範囲 ※図示		(8.2.8)				
3 ALCパネル	壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示 (8.3.4)					
	各部の配筋 ※図示 (8.3.4)					
	(8.4.2~5)(表8.4.2~4)					
	パネルの区分		単位荷重(N/m ²)			
			厚さ(mm)			
			長さ(mm)			
			耐火性能			
			表面加工			
			工法の種類			
	・外壁パネル		・1180・1960		・100・	
・間仕切壁パネル		・980・		・100・		
・屋根パネル		・2350・3530		・100・		
・床パネル						
伸縮調整目地の目地幅(mm) ※10~20		()			(8.4.3~4)	
外壁、間仕切壁伸縮調整目地への耐火目地材の充填		・適用する			(8.4.3~4)	
4 押出成形セメント板(EGP)	(8.5.2~4)(表8.5.1~2)					
	パネルの種類		表面形状			
			厚さ(mm)			
			幅(mm)			
			ロックル充てん			
			工法の種類			
	・外壁パネル		・F		・50・60	
			・D		・50・60	
			・T		60	
	・間仕切壁パネル		・F			
		・D		600		
		・T				
F：フラットパネル D：デザインパネル T：タイルベースパネル		パネル相互目地幅(mm) ※長辺8以上、短辺15以上			(8.5.3~4)	
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様		()			(8.5.3~4)	
やむを得ず設備開口等設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 ※図示		()			(8.5.5)	
9 防水工事	1 アスファルト防水	アスファルトの種類 ※3種		(9.2.2)		
		押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度		(9.2.2)		
	屋根保護防水		(9.2.2~3)(9.2.5)(表9.2.3~6)			
	種別		施工箇所		断熱材 G	
	・A-1					
	・A-2					
	・A-3					
	・B-1					
	・B-2					
	・B-3					
・A1-1		厚さ ※25mm		※フットヤークロス		
・A1-2		・50mm		70g/m ² 程度		
・A1-3						
・B1-1						
・B1-2						
・B1-3						
断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。						
平場の保護コンクリートの厚さ		こて仕上げ		※水下 80mm 以上 ()		
		床タイル張り		※水下 60mm 以上 ()		

乾式保護材					
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したものを。					
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化させたものを。					
分類・規格		・窯業系パネルⅠ類 ・窯業系パネルⅡ類 ・金属複合板			
寸法(mm)	厚さ				
	幅				
	長さ				
曲げ強さ(曲げモーメント)	標準時	550 N・cm 以上	450 N・cm 以上	300 N・cm 以上	
凍結融解完了時(試験サイクル数)		400 N・cm 以上	320 N・cm 以上	250 N・cm 以上	
吸水率(%)	20 以下	20 以下	20 以下	1 以下	
吸水による長さ変化率(%)	0.07 以下	0.07 以下	0.07 以下	0.01 以下	
防火性能	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃	
剛性(E×I)(N・cm ²)	(スパン 40cm 幅 30cm の中央曲げ時に荷重 720N の時、たわみが 4mm 以下となる剛性)	(300)	(200)	(300)	
耐衝撃性	おもり重量	1000g	500g	500g	
	残留変形量	1/100 以下			
	加圧時の最大変形量	4/100 以下			
耐凍結融解性能	高さ 1.0m から試験体の弱点部におもりを落とすとき、表面に達する穴があかないこと。				
出荷時の含水率	10% 以下				
寸法の許容差	厚さ	-5% ~ +10%		幅	±1%
屋根露出防水 (9.2.3)(表9.2.7~8)					
種別		施工箇所		断熱材 G	
・D-1					
・D-2					
・D-3					
・D-4					
・DI-1		種類		種類	
				製造所の仕様による	
・DI-2		厚さ		25mm・50mm	
・DI-2				製造所の仕様による	
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合 (9.2.4)					
ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ()					
屋内防水 (9.2.3)(表9.2.9)					
種別		施工箇所		種別	
・E-1				・E-2	
保護層		・設ける(※図示)		()	
				(9.2.3)	
防水層の下のモルタル塗り ・適用する (施工範囲・図示) (9.2.4)					
防水層の下地立上り ・コンクリート打放しB種 () (9.2.4)					
屋上排水溝 ・適用する () (9.2.5)					
押え金物の材質及び形状寸法		※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度		(9.3.2)	
		()		()	
屋根露出防水 (9.3.2~3)(表9.3.1~3)					
種別		施工箇所		改質アスファルトシート	
				種類 厚さ(mm)	
・AS-T1		下層用		※非露出複層防水用R種 ※2.5以上	
		上層用		※露出複層防水用R種 ※3.0以上	
・AS-T2		※露出単層防水用R種		※4.0以上	
・AS-T3		下層用		※非露出複層防水用R種 ※1.5以上	
		上層用		※露出複層防水用R種 ※3.0以上	
・AS-T4		※露出単層防水用R種		※4.0以上	
・AS-J1		下層用		※非露出複層防水用R種 ※1.5以上	
		上層用		※露出複層防水用R種 ※2.0以上	
・AS1-T1		下層用		※非露出複層防水用R種 ※1.5以上	
		上層用		※露出複層防水用R種 ※3.0以上	
・AS1-J1		下層用		※非露出複層防水用R種 ※1.5以上	
		上層用		※露出複層防水用R種 ※2.0以上	
				厚さ	
				・25mm	
				・50mm	
				・	

3 合成高分子系ルーフingシート防水	防水層の種類 (9.4.2~3)(表9.4.1~3)						
	種別		施工箇所		ルーフingシートの厚さ(mm)		
	・S-F1				※1.2		
	・S-F2				※2.0		
	・S-M1				※1.5		
	・S-M2				※1.5		
	・S-M3				※1.2		
	・SI-F1				※1.2		
	・SI-F2				※2.0		
	・SI-M1				※1.5		
・SI-M2				※1.5			
・S-C1				※1.0			
				種類			
				・カラー			
				・シルバー			
				厚さ			
				・25			
				・50			
				・			
S-F1、SI-F1の場合 (9.4.4)							
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 () ・ 図示							
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り () ・ 図示							
S-C1の保護層 (9.4.4)							
平場・モルタル塗り 塗り厚(・30mm ()) ・保護コンクリート 厚さ() mm							
立上り部の保護モルタルの塗厚 ※7mm以下 ()							
4 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3)(表9.5.1~2)						
	種別		施工箇所		備考		
・X-1				仕上げ塗料塗り			
・X-2				・カラー			
・Y-1		※地下外壁防水		・			
・Y-2		※屋内防水		・			
				Y-2の保護層			
				・設ける			
5 ケイ酸質系塗布防水	防水層の種類 (9.6.3)(表9.6.1~2)						
	種別		施工箇所		種別		
※C-U1				・C-U1			
6 FRP防水	防水層の種類						
	種別		施工箇所		備考		
7 脱気装置	(9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)						
	防水種別		種類		設置数量		
D-1 D-2 D-3 D-4		※アスファルトルーフing類(又は改質アスファルトシート、ルーフingシート)の製造所の仕様による		※アスファルトルーフing類(又は改質アスファルトシート、ルーフingシート)の製造所の仕様による			
DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1 S-F1 S-F2 S1-F1 S1-F2				・()個/m ²			
X-1		※主材料の製造所の仕様による		※主材料の製造所の仕様による			
				・()個/m ²			
⑧ シーリング	下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2~3)(表9.7.1)						
	施工箇所		シーリング材の種類(記号)				
	サッシ廻り、外部		MS-2				
タイル廻り、面台廻り		PS-2					
シーリング面への仕上げ塗料仕上げ等		・行う ・行わない					
接着性試験		※簡易接着性試験					
		・引張接着性試験(部位)					
		()					
期間は()年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。							
10 石工事	1 施工	石材の割付け(取合部以外) () ・ 図示 (10.1.3)					
		粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ () ・ 図示 (10.1.3)					
		屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・行う (使用箇所 ※全て) (10.1.5)					
	2 石材	・天然石 (10.2.1)(表10.2.1~2)					
		施工箇所		岩石の種類		等級	
						・1等品	
						・2等品	
・テラゾブロック		(10.2.1)(表10.2.1~2)					
施工箇所		種石の種類		大きさ			
		※大理石		形状による区分			
		・花こう岩		仕上げ面による区分			
				寸法(mm) 厚さ(mm) 表面仕上げ			
				備考			
特記仕様書(建築工事編)(4)							
令和3年3月		平成31年度版		高知県土木部建築課			
交通安全子どもセンタートイレ改築工事				令和2年7月改正			
				NO			
				A-03			

		・テラゾタイル (10.2.1)(表10.2.1~2)																																																																																																						
		<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td></td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ		※大理石 ・花こう岩		・300型 ・400型																																																																																												
		施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ																																																																																																	
			※大理石 ・花こう岩		・300型 ・400型																																																																																																			
乾式工法的方式による金物の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 (10.2.2) あと施工アンカーの材質及び寸法等 ・ () ・図示 (10.2.2) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質 ・ () ・図示 (10.2.3) 石裏面処理及び裏打ち処理 (10.3.2)(10.5.2)(10.6.2~3) ・適用する ・適用しない																																																																																																								
位置 ・ () ・図示 (11.1.3)(表11.1.1)																																																																																																								
11 タ イ ル 工 事	②タイル	①伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地																																																																																																						
		②タイル																																																																																																						
		③セメント樹脂によるタイル張り																																																																																																						
		④有機系接着剤によるタイル張り																																																																																																						
11	①表面仕上げ	機械加工 ・A種 ※B種 ・C種 (12.1.4)(表12.1.1~2) 適用箇所() 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 適用箇所()																																																																																																						
11	②木材	本工事に使用する木材は、高知県内産材(高知県内の森林から生産された木材)を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格(JAS)以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所() 間伐材等の適用 ・使用する(使用箇所) (12.2.1)(表12.2.1) 木材の含水率 ※A種 ・B種 (以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)																																																																																																						
11	③製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○「製材の日本農林規格」以外の製材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>防虫処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td>下地材(胴縁等)</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>特一等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>造作材(枠、押え縁等)</td> <td>桧</td> <td>図示</td> <td>小節</td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 ※A種</td> </tr> </table> ○「製材の日本農林規格」による製材(構造用) (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>防虫処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td>土台</td> <td>桧</td> <td>図示</td> <td>特一等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>特一等</td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 ※A種</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	保存処理	材面の品質								施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	保存処理	材面の品質								施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質				※1等		※10%以下						※1等		※10%以下						※1等		※10%以下			施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	防虫処理	材面の品質	下地材(胴縁等)	杉	図示	特一等				造作材(枠、押え縁等)	桧	図示	小節			造作材の場合 ※A種	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	防虫処理	材面の品質	土台	桧	図示	特一等				その他	杉	図示	特一等			造作材の場合 ※A種
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	保存処理	材面の品質																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	保存処理	材面の品質																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質																																																																																																	
			※1等		※10%以下																																																																																																			
			※1等		※10%以下																																																																																																			
			※1等		※10%以下																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	防虫処理	材面の品質																																																																																																		
下地材(胴縁等)	杉	図示	特一等																																																																																																					
造作材(枠、押え縁等)	桧	図示	小節			造作材の場合 ※A種																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	防虫処理	材面の品質																																																																																																		
土台	桧	図示	特一等																																																																																																					
その他	杉	図示	特一等			造作材の場合 ※A種																																																																																																		

4	造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>含水率</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>含水率</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>含水率</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)</td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td>※1類</td> <td></td> <td>広葉樹 ・1等 ※2等</td> <td>・する</td> <td>・難燃処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2類</td> <td></td> <td>針葉樹 ※C-D</td> <td>・しない</td> <td>・防炎処理</td> </tr> </table> ○「合板の日本農林規格」による構造用合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>有効断面係数比</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td>12.0</td> <td>・特類</td> <td>・1級</td> <td></td> <td>※C-D</td> <td>・する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>※2級</td> <td></td> <td>・</td> <td>・しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>野地板</td> <td>15.0</td> <td>特類</td> <td>1級</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・特類</td> <td>・1類</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※4.2</td> <td>・1類</td> <td>・なら</td> <td>・する</td> <td>・難燃処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・3.2</td> <td>・2類</td> <td>・しおじ</td> <td>・しない</td> <td>・防炎処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・6.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・しない</td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> <th>その他の処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※4.0</td> <td>・1類</td> <td>・F</td> <td></td> <td></td> <td>・する</td> <td>・難燃処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・2類</td> <td>・FW</td> <td></td> <td></td> <td>・しない</td> <td>・防炎処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・W</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・SW</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※1等 ・2等	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質							※1等 ・2等	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質							施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率	見付け材面の品質				※15%以下		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質							※15%以下	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質							※15%以下	施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法(mm)	備考		・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)	・する ・しない			施工箇所	表面の品質	含水率	防虫処理	寸法(mm)	備考		・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)	※14%以下	・する ・しない			施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	その他の処理		※5.5	※1類		広葉樹 ・1等 ※2等	・する	・難燃処理			・2類		針葉樹 ※C-D	・しない	・防炎処理	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	有効断面係数比	強度等級		12.0	・特類	・1級		※C-D	・する					※1類	※2級		・	・しない			野地板	15.0	特類	1級						施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	備考			・特類	・1類	・する ・しない		施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	その他の処理		※4.2	・1類	・なら	・する	・難燃処理		・3.2	・2類	・しおじ	・しない	・防炎処理		・6.0				・しない	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理		※4.0	・1類	・F			・する	・難燃処理		・	・2類	・FW			・しない	・防炎処理				・W				・しない				・SW				
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																		
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																		
	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																			
			※15%以下																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																	
						※15%以下																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																	
						※15%以下																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																			
	・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	表面の品質	含水率	防虫処理	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																		
	・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)	※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	その他の処理																																																																																																																																																																																																																																	
	※5.5	※1類		広葉樹 ・1等 ※2等	・する	・難燃処理																																																																																																																																																																																																																																	
		・2類		針葉樹 ※C-D	・しない	・防炎処理																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	有効断面係数比	強度等級																																																																																																																																																																																																																															
	12.0	・特類	・1級		※C-D	・する																																																																																																																																																																																																																																	
		※1類	※2級		・	・しない																																																																																																																																																																																																																																	
野地板	15.0	特類	1級																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	備考																																																																																																																																																																																																																																		
		・特類	・1類	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	その他の処理																																																																																																																																																																																																																																		
	※4.2	・1類	・なら	・する	・難燃処理																																																																																																																																																																																																																																		
	・3.2	・2類	・しおじ	・しない	・防炎処理																																																																																																																																																																																																																																		
	・6.0				・しない																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理																																																																																																																																																																																																																																
	※4.0	・1類	・F			・する	・難燃処理																																																																																																																																																																																																																																
	・	・2類	・FW			・しない	・防炎処理																																																																																																																																																																																																																																
			・W				・しない																																																																																																																																																																																																																																
			・SW																																																																																																																																																																																																																																				
5	造作用単板積層材	①																																																																																																																																																																																																																																					
6	CLT(直交集成板)	①																																																																																																																																																																																																																																					
7	合板等	①																																																																																																																																																																																																																																					

8	接着剤	・パーティクルボード (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性</th> <th>難燃性</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> </tr> </table> ・構造用パネル (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> <td></td> </tr> </table> ・メディアムデンシティーファイバーボード(MDF) (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤</th> <th>難燃性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 屋内に使用する接着剤のVOC対策は、「1(各章共通事項). 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。 (12.2.2) 防蟻、防蟻処理が必要な樹種による製材 適用部位() (12.3.1) 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ※K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ※K4</td> </tr> </table> 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> 薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位() 合法的に伐採された木材である証明書を提出する。	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性		※15		※13タイプ	※P又はM		施工箇所	厚さ(mm)	等級	備考			・1級 ・2級 ・3級 ・4級		施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性							適用部位	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ※K4		・K2 ・K3 ※K4	適用部位	処理の方法		
	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性																																						
		※15		※13タイプ	※P又はM																																							
	施工箇所	厚さ(mm)	等級	備考																																								
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																										
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性																																							
適用部位	保存処理性能区分																																											
	・K2 ・K3 ※K4																																											
	・K2 ・K3 ※K4																																											
適用部位	処理の方法																																											
9	防蟻、防蟻処理																																											
10	合法性証明書																																											
13 屋 根 及 び と い 工 事	①長尺金属板葺	(13.2.2~3)(表13.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>長尺金属板の種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> </tr> <tr> <td>○全域</td> <td>※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)</td> <td>※0.4</td> <td>・立平葺 ・あり掛葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・フッ素樹脂塗装GLカラー鋼板</td> <td>・0.4</td> <td>・立ハゼ葺</td> </tr> </table> 下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 (13.2.2)(表13.2.2) ○改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ○粘着層付タイプ) 雪止め ・設置する(施工箇所 ・図示 ・) (13.2.3)	施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺形式	○全域	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)	※0.4	・立平葺 ・あり掛葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺	・	・フッ素樹脂塗装GLカラー鋼板	・0.4	・立ハゼ葺																														
	施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺形式																																								
	○全域	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)	※0.4	・立平葺 ・あり掛葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺																																								
	・	・フッ素樹脂塗装GLカラー鋼板	・0.4	・立ハゼ葺																																								
②折板葺	(13.3.2)(表13.2.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>長尺金属板の種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>形状(mm)</th> <th>軒先面戸板耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td> <td>※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)</td> <td>※0.6 ・0.8</td> <td>※図示 ・山高 () ・山ヒツツ ()</td> <td>※有り ※30分 ・なし ・なし</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理(直接外気の影響を受けない屋内の場合) ・E種 ・F種 断熱材 ※有り (種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し (13.4.2)(13.4.3)	施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板耐火性能	・	※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)	※0.6 ・0.8	※図示 ・山高 () ・山ヒツツ ()	※有り ※30分 ・なし ・なし	・	・	・	・	・	・																									
施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板耐火性能																																							
・	※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)	※0.6 ・0.8	※図示 ・山高 () ・山ヒツツ ()	※有り ※30分 ・なし ・なし																																							
・	・	・	・	・	・																																							
③粘土瓦葺	(13.4.2)(13.4.3) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>瓦の種類</th> <th>寸法による区分</th> <th>役付瓦の種類</th> <th>産地</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※J型</td> <td>※53A</td> <td>・軒かわら ・そでかわら ・のしがわら ・かんむりがわら</td> <td>※高知県産 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S形</td> <td>・49A ・49B</td> <td>・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・F形</td> <td>・40</td> <td>・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら</td> <td></td> </tr> </table> 雪止め瓦 ※適用しない ・適用する (13.4.2) 凍害試験 ・行う ・行わない 棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示 下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 (13.2.2)(表13.2.2) ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ) 棟木の留付け工法 ※図示 (13.4.3) 棟の工法 ※7寸丸伏せ棟 ・F形用冠瓦伏せ棟 ・のし積み棟 (13.4.3) ※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。	施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役付瓦の種類	産地		※J型	※53A	・軒かわら ・そでかわら ・のしがわら ・かんむりがわら	※高知県産 ・		・S形	・49A ・49B	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら			・F形	・40	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら																								
施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役付瓦の種類	産地																																								
	※J型	※53A	・軒かわら ・そでかわら ・のしがわら ・かんむりがわら	※高知県産 ・																																								
	・S形	・49A ・49B	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら																																									
	・F形	・40	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら																																									
13	①																																											

特記仕様書(建築工事編)(5)

平成31年度版 高知県土木部建築課

令和3年3月

交通安全子どもセンタートイレ改築工事

令和2年7月改正

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

NO
A-04

一級建築士大臣登録第32947号 松本琢史

④	といの材種 ・配管用鋼管 ・表面処理鋼板 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP G ・VP) ○住宅用(図示) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 鋼管製といの防露巻き ※行う (施工箇所 ※標準仕様書表13.5.4 による ・)	(13.5.2)(表13.5.1)	15 左 官 工 事	①モルタル塗り モルタル ○現場調合材料 ・既調合材料 () (15.3.2) 既製目地材 ・使用する(施工箇所: 形状:) (15.3.2) 床の目地 ・設ける(工法 ※押し目地 ・) (15.3.5) 目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・() 下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う	(15.3.2)	6 樹脂製建具	性能値等 (16.2.2)(16.3.2~5)(表16.3.1) ・外部に面する建具の性能等級 ・A種 (S-4、A-4、W-4) (建具符号:) ・B種 (S-5、A-4、W-5) (建具符号:) ・C種 (S-6、A-4、W-5) (建具符号:) ・屋内の建具の性能等級 () 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 外部に面する建具 ・T-A種 ・T-B種 (16.3.2)(表16.3.3) 断熱ドアセット・断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 外部に面する建具 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (16.3.2)(表16.3.4) 枠の見込み寸法 ・() ・図示 ガラス ※複層ガラス ・() (16.3.3) 表面色 ※標準色 ・特注色 (16.3.4) 水切り板、ぜん板 ・() ・図示 (16.3.5)
	ルーフトレン 種 別 材 種 施工箇所 ・ろく屋根用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用			②床コンクリート直直し 仕上げ	下表以外は表6.2.5及び15.4.2による (表6.2.5)(15.4.2)		
14 金 属 工 事	①ステンレスの表面仕上 種 別 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外) ※HL程度 目地棒 ・鏡面仕上程度 ・No.2B程度	(14.2.1)	3 ゼルパレ'リソカ'材塗り 4 仕上塗材仕上げ	・せっこう系 ・セメント系 (15.5.2)(表15.5.1)		8 鋼製軽量建具	性能値等 (16.2.2)(16.5.2) 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (表16.2.1) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号:)
2 アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理	種 別 色合い 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) ・BB-1種 ・BB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色	(14.2.2)(表14.2.1)	5 マスチック塗材塗り	・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E ・複層仕上塗材 ・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・軽量骨材仕上塗材 ・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材 防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする	・砂壁状 ・ゆず肌状(・吹付け ・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状(・吹付け ・こて塗り) ・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する 上塗材 ・適用する	9 ステンレス製建具	性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2) 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (表16.2.1) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号:) 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・() (16.6.4) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)
3 鉄鋼の亜鉛めっき	表面処理方法 種 別 施工箇所(手すり、タラップ以外) ・溶融亜鉛めっき ・電気亜鉛めっき	(14.2.3)(表14.2.2)	6 ロックール吹付け	種別 ・A種 ・B種 (15.7.2)		⑩ 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・() (16.7.2) 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.7.2) ※規制対象外 ・第三種 ○フラッシュ戸 (16.7.2~4) ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () (16.7.2~4) ・ふすま 種別(・I型 ・II型) (16.7.2~4) ふすま紙上張り(押入等の裏側以外) (・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度) 縁仕上げ (・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリアー塗装)) ・戸ぶすま (16.7.2~4) ・紙張り障子 (16.7.2~4) 枠及びくつずりの材料 ・() ○図示 (16.7.2)
4 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 ・19形 ※25形 屋内 ※19形 ・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 耐風圧性を考慮した補強 ※図示 ・() ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・() ・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)による ・図示 ・天井のふところが3mを超える場合 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・() ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・()	(14.4.2)(表14.4.1)	7 アルミニウム製建具	種別 ・A種 ・B種 (15.1.2.2)		11 鍵	マスターキー ○制作する ・制作しない (16.8.4) その他の鍵 ※各室3本1組 ・() 鍵箱 ※有 ・無
5 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1による ・図示 (14.5.3)(表14.5.1) スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・()		8 ミニウム製笠木	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (15.1.2.2) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (15.1.2.2) 仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示 ・25 ・() (15.1.2.3)		12 自動ドア開閉装置	自動ドア開閉装置の性能値等 (16.9.2~3)(表16.9.1~4) 種 別 防 錆 検出装置の種類 凍結防止装置 ・引き戸用 駆動装置 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・適用する ・DSLD-1 ・DSLD-2 ・適用しない ・多機能トイレ出入口 引き戸用駆動装置 ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ
6 金属成形板張り	種 別 製 法 形 状 寸法(mm) 板厚(mm) 表面処理 種 別 色合い ・アルミニウム ・押し出し ・ロール ・プレス ・ハ'形 ・ハ'形 ・BB-1種 ・BB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種	(14.6.2)(表14.2.1)	1 防火戸	() (16.1.3)		⑬ 自閉式上吊り 引戸装置	性能 ※標準仕様書表16.10.11による ・() (16.10.3)(表16.10.1)
7 アルミニウム製笠木	取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示 (14.6.3) 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示 ・) (14.6.3)		2 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16.1.4) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) (16.1.4)		14 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 耐風圧強度 () N/m ² (16.11.2) 耐風圧強度 () N/m ² 開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (16.11.2)(表16.11.1) 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない (16.11.2) スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3) 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・()
8 手すり及びタラップ	手すり ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL程度 ・No.2B程度) (14.8.2) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっき()種 ・) () タラップ ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし ・) (14.8.3) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきA種 ・) ()	(14.7.2)(表14.7.1)	3 防犯建物部品	・適用する () (16.1.6)		特記仕様書(建築工事編)(6)	
			4 ミニウム製建具	性能値等 (16.2.2)(表16.2.1) ・外部に面する建具の性能等級 ・A種 (S-4、A-3、W-4) (建具符号:) ・B種 (S-5、A-3、W-4) (建具符号:) ・C種 (S-6、A-4、W-5) (建具符号:) ・屋内の建具の性能等級 () 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号:) 枠の見込み寸法 ・() ・図示 表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種(・標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種(・標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ・() ・図示 水切り板、ぜん板 ・() ・図示 (16.2.5)		5 網戸等	(16.2.3)
			5 網戸等	種 別 材 質 線 径 網 目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材	※0.25mm以上 ・ 1.5mm ※16~18メッシュ ・ 網目寸法 15mm	交通安全子どもセンタートイレ改築工事 令和2年7月改正	平成31年度版 高知県土木建築課 NO A-05 松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史
						令和3年3月	

15 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） (16.1.2.2)(表16.1.2.1) 耐風圧強度 () N/m ² スラット形状 ・インターロッキング形 ・オーバラッピング形 (16.1.2.3~4) ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55%Zn-Ni-Fe-合金めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※AZ90）																																																																																	
16 オーバーヘッドドア	(16.1.3.2~3) セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ※バランス式 ※スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 ・ファイバーグラストタイプ ・電動式 ・ハイリフト形 ・パーチカル形																																																																																	
17 ガラス	耐風圧性能による区分 (・125 ・100 ・75 ・50) Pa ・合わせガラス (16.1.4.2) <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>構成種類</th> <th>特性による種類</th> </tr> <tr> <td>※フロート合わせガラス</td> <td>※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス</td> <td>Ⅰ類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス</td> <td>Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 Ⅲ類</td> </tr> </table> ・強化ガラス (16.1.4.2) <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>種 類</th> <th>特性による種類</th> </tr> <tr> <td>※フロートガラス</td> <td>※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td> <td>Ⅰ類 ・Ⅲ類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>※型板強化ガラス</td> <td></td> </tr> </table> ・熱線吸収板ガラス (16.1.4.2) <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>特性による種類</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>※熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収 網入磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・複層ガラス (16.1.4.2) <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>断熱性</th> <th>日射取得性、日射遮蔽性</th> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・断熱複層ガラス</td> <td>・T1 ・T2 ・T3</td> <td>・G</td> <td>・空気</td> </tr> <tr> <td>・日射熱遮へい複層ガラス</td> <td>・T4 ・T5 ・T6</td> <td>・S</td> <td>・アルゴン</td> </tr> </table> ・熱線反射ガラス (16.1.4.2) <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>日射熱遮へい性</th> <th>耐久性</th> <th>ガラスの種類</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>※熱線反射ガラス</td> <td>・1種</td> <td>A種</td> <td></td> <td>・ブルー ・グレー</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス</td> <td>・2種 ・3種</td> <td>・A種 ・B種 B種</td> <td></td> <td>・ブロンズ ・シルバー</td> </tr> </table> 反射皮膜面 ※内面 ・外面 映像調整 ※行わない ・行う (16.1.4.4) ・倍強度ガラス (16.1.4.2) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">材料板ガラスによる種類の名称</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>※フロート倍強度ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・グレー ・ブルー ・ブロンズ</td> <td></td> </tr> </table> ・ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.1.4.2~3)(図16.1.4.1)(9.7.1) <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td></td> </tr> </table>				品 種	構成種類	特性による種類	※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	Ⅰ類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 Ⅲ類	品 種	種 類	特性による種類	※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	Ⅰ類 ・Ⅲ類	・型板ガラス	※型板強化ガラス		品 種	特性による種類	色 調	※熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収 網入磨き板ガラス			品 種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類	・断熱複層ガラス	・T1 ・T2 ・T3	・G	・空気	・日射熱遮へい複層ガラス	・T4 ・T5 ・T6	・S	・アルゴン	品 種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	色 調	※熱線反射ガラス	・1種	A種		・ブルー ・グレー	・高性能熱線反射ガラス	・2種 ・3種	・A種 ・B種 B種		・ブロンズ ・シルバー	材料板ガラスによる種類の名称		色 調	※フロート倍強度ガラス			・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ		建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材		ステンレス製	※シーリング材		樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	
品 種	構成種類	特性による種類																																																																																
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	Ⅰ類																																																																																
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 Ⅲ類																																																																																
品 種	種 類	特性による種類																																																																																
※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	Ⅰ類 ・Ⅲ類																																																																																
・型板ガラス	※型板強化ガラス																																																																																	
品 種	特性による種類	色 調																																																																																
※熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																																
・熱線吸収 網入磨き板ガラス																																																																																		
品 種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類																																																																															
・断熱複層ガラス	・T1 ・T2 ・T3	・G	・空気																																																																															
・日射熱遮へい複層ガラス	・T4 ・T5 ・T6	・S	・アルゴン																																																																															
品 種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	色 調																																																																														
※熱線反射ガラス	・1種	A種		・ブルー ・グレー																																																																														
・高性能熱線反射ガラス	・2種 ・3種	・A種 ・B種 B種		・ブロンズ ・シルバー																																																																														
材料板ガラスによる種類の名称		色 調																																																																																
※フロート倍強度ガラス																																																																																		
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ																																																																																	
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示																																																																																
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材																																																																																	
ステンレス製	※シーリング材																																																																																	
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形																																																																																	
18 ガラス用フィルム	<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム</td> <td>第2種</td> <td>※内張り ・外張り</td> <td>飛散防止率 D1</td> </tr> </table> 品質 JIS A5759による				名 称	種 類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1																																																																						
名 称	種 類	張り面	性能値																																																																															
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1																																																																															
19 取り付け間仕切板	※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具に合わせる） ・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量Z12又はF12)																																																																																	
20 ガラスブロック	(16.1.4.5) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">表面形状</th> <th rowspan="2">呼び寸法</th> <th rowspan="2">厚 さ</th> <th colspan="2">色 調</th> <th colspan="2">目地幅(mm)</th> <th rowspan="2">伸縮調整目地(mm)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>クリア</th> <th>乳白</th> <th>平積み</th> <th>曲面積み</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">正方形</td> <td>・125×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※8~15</td> <td>外側</td> <td rowspan="4">※6m以下ごとに幅10~25 ・図示</td> <td rowspan="4">※無し ・有り</td> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95・125</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・15~25</td> <td>※15以下</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95・125</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・320×320</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>内側</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長方形</td> <td>・250×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>※6以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・320×160</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。				表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調		目地幅(mm)		伸縮調整目地(mm)	防火性能	クリア	乳白	平積み	曲面積み	正方形	・125×125	80	・	・	※8~15	外側	※6m以下ごとに幅10~25 ・図示	※無し ・有り	・160×160	・95・125	・	・	・15~25	※15以下	・200×200	・95・125	・	・			・320×320	95	・	・		内側	長方形	・250×125	80	・	・		※6以下		・320×160	95	・	・																										
表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調					目地幅(mm)		伸縮調整目地(mm)	防火性能																																																																							
			クリア	乳白	平積み	曲面積み																																																																												
正方形	・125×125	80	・	・	※8~15	外側	※6m以下ごとに幅10~25 ・図示	※無し ・有り																																																																										
	・160×160	・95・125	・	・	・15~25	※15以下																																																																												
	・200×200	・95・125	・	・																																																																														
	・320×320	95	・	・		内側																																																																												
長方形	・250×125	80	・	・		※6以下																																																																												
	・320×160	95	・	・																																																																														
	壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示） 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材 質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸 法 ・図示 () 形 状 ・図示 ()																																																																																	

21 付属電気設備	電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。																																																				
1 取付方法、性能等	取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スラット方式 () 性能 (17.1.3) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">耐震性</th> <th rowspan="2">水密性</th> <th rowspan="2">気密性</th> <th rowspan="2">遮音性</th> <th rowspan="2">断熱性</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> <th rowspan="2">耐温度差性(℃)</th> </tr> <tr> <th>水平方向</th> <th>垂直方向</th> </tr> <tr> <td>※1.0</td> <td>※0.5</td> <td>・W-1 ・W-2 ・W-3 ・W-4 ・W-5</td> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3 ・A-4</td> <td>・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4</td> <td>・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5</td> <td>・30分 ・1時間</td> <td>・80 ・70 ・60</td> </tr> </table> 主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く） <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>耐風圧性能</th> </tr> <tr> <td>4m以下</td> <td>※たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td></td> </tr> </table> 層間変位追従性 <table border="1"> <tr> <th>建築物の構造種別</th> <th>層間変位量 (h=支点間距離)</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td></td> </tr> </table> シーリング材 下表以外は標準仕様書表9.7.1による (17.2.2)(17.3.2)(表9.7.1) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">被着体の組合せ</th> <th colspan="2">シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <th>記 号</th> <th>主成分による区分</th> </tr> <tr> <td>金 属</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 構造用ガスケット (17.2.2) ・適用する（施工箇所 ※図示） 材質 ・クロロブレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系 形状 ・H型 ・Y型 ・C型 寸法(mm) ガラス板厚()、支持枠の厚さ()、ウェブの寸法()				耐震性		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)	水平方向	垂直方向	※1.0	※0.5	・W-1 ・W-2 ・W-3 ・W-4 ・W-5	・A-1 ・A-2 ・A-3 ・A-4	・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4	・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5	・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60	支点間距離 (h)	耐風圧性能	4m以下	※たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること	4mを超える		建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	鉄骨造		鉄筋コンクリート造		鉄骨鉄筋コンクリート造		被着体の組合せ	シーリング材の種類		記 号	主成分による区分	金 属	ガラス			石、タイル		ガラス	ガラス		カーテンウォール板間目地		
耐震性		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能							耐温度差性(℃)																																								
水平方向	垂直方向																																																				
※1.0	※0.5	・W-1 ・W-2 ・W-3 ・W-4 ・W-5	・A-1 ・A-2 ・A-3 ・A-4	・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4	・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5	・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60																																														
支点間距離 (h)	耐風圧性能																																																				
4m以下	※たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること																																																				
4mを超える																																																					
建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)																																																				
鉄骨造																																																					
鉄筋コンクリート造																																																					
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																					
被着体の組合せ	シーリング材の種類																																																				
	記 号	主成分による区分																																																			
金 属	ガラス																																																				
	石、タイル																																																				
ガラス	ガラス																																																				
カーテンウォール板間目地																																																					
2 断熱材	<table border="1"> <tr> <th>種類 ()</th> <th>(17.2.2)(17.3.2)</th> </tr> <tr> <td>厚さ(mm) ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工箇所 ※図示 ()</td> <td></td> </tr> </table>				種類 ()	(17.2.2)(17.3.2)	厚さ(mm) ()		施工箇所 ※図示 ()																																												
種類 ()	(17.2.2)(17.3.2)																																																				
厚さ(mm) ()																																																					
施工箇所 ※図示 ()																																																					
耐火材料	(17.2.5)(17.3.5)(17.3.7) <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種 別</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ファスナー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取付けブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間ふさぎ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				施工部位	種 別	規格等	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ																																				
施工部位	種 別	規格等																																																			
・ファスナー部																																																					
・取付けブラケット																																																					
・パネル目地部																																																					
・層間ふさぎ																																																					
カーテンウォールの材料	(17.2.2~3、5) <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>規格等</th> <th>表面処理</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※標準仕様書17.2.3による</td> <td>・AB-1種 ・AB-2種 着色(・標準色 ・特注色)</td> <td>・行う</td> </tr> </table>				材 料	規格等	表面処理	映像調整	※アルミニウム製	※標準仕様書17.2.3による	・AB-1種 ・AB-2種 着色(・標準色 ・特注色)	・行う																																									
材 料	規格等	表面処理	映像調整																																																		
※アルミニウム製	※標準仕様書17.2.3による	・AB-1種 ・AB-2種 着色(・標準色 ・特注色)	・行う																																																		
製品及び取付位置の寸法許容差	※標準仕様書表17.2.1~3による () (17.2.3)(17.2.5) ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による () (17.2.3)																																																				
カーテンウォールの材料	(17.3.2)(17.3.4) コンクリートの種類 ・普通コンクリート ・軽量コンクリート 鉄筋 ※SD295A(・D13 ・D10) 補強鉄線の径(mm) ※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 配筋 () ・図示 先付け材料 ・サッシ枠 ・ゴンドラ用ガイドレール () (17.3.2) 表面仕上材 ・磁器質タイル (17.3.3) ・石材 (・花こう岩 ・大理石) ()																																																				
ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)	(17.3.3) ・h = -1~+2、W ₁ 及びW ₂ = ±1 製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1~2による () (17.3.3)(17.3.5)																																																				

18 塗装工事	①材 料 屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)、7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (18.1.3) ・次の箇所を除き防火材料とする (箇所:) (18.2.2~7) 下地面等 種 別 <table border="1"> <tr> <th>木 部</th> <th>不透明塗料塗りの場合</th> <th>※A種 ・B種</th> </tr> <tr> <td></td> <th>透明塗料塗りの場合</th> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びびラスター面</td> <td></td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td></td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)及びALCパネル面</td> <td></td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>せこうボード面及びその他ボード面</td> <td>継目処理工法の場合</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>継目処理工法以外</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> ③ 錆止め塗料塗り (18.3) <table border="1"> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>EP-G以外</th> <th>※A種 鉛・クロムフリー錆止めペイント1種</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面錆止め塗料</td> <td>EP-G ※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面錆止め塗料</td> <td>EP-G以外 ※B種</td> <td>EP-G ※C種</td> </tr> </table> ④ 塗装 ・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (18.4) ・クリアラッカー塗り(CL) (18.5) ・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD) (18.6) ◎耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料の等級(1)級 (18.7) コンクリート面及び押出成形セメント板面 工程の種類 ◎A種 ・B種 ・C種 ・つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EPRG) (18.8) ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (18.9) ・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EPT) (18.10) ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18.11) ・オイルステイン塗り(OS) (水性 ・油性) (18.12) ◎木材保護塗料塗り(WP) ◎A種 ・B種 (18.13)				木 部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種		透明塗料塗りの場合	・A種 ※B種	鉄鋼面		・A種 ・B種 ※C種	亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種	モルタル面及びびラスター面		・A種 ※B種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種 ※B種	コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・A種 ・B種	せこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※A種 ・B種		継目処理工法以外	・A種 ※B種	塗料の種類	EP-G以外	※A種 鉛・クロムフリー錆止めペイント1種	鉄鋼面錆止め塗料	EP-G ※B種		亜鉛めっき鋼面錆止め塗料	EP-G以外 ※B種	EP-G ※C種
木 部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種																																						
	透明塗料塗りの場合	・A種 ※B種																																						
鉄鋼面		・A種 ・B種 ※C種																																						
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種																																						
モルタル面及びびラスター面		・A種 ※B種																																						
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種 ※B種																																						
コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・A種 ・B種																																						
せこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※A種 ・B種																																						
	継目処理工法以外	・A種 ※B種																																						
塗料の種類	EP-G以外	※A種 鉛・クロムフリー錆止めペイント1種																																						
鉄鋼面錆止め塗料	EP-G ※B種																																							
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料	EP-G以外 ※B種	EP-G ※C種																																						
5 床用防じん塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料(※標準色) () 仕上種類 コーティング(ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする																																							
19 内装工事	1 接着剤 壁紙施工でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)、7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による (19.2.2~3)																																							
2 ビニル床シート	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色 柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td></td> <td>・無地 ・マーブル柄</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・柄物</td> <td>・防滑性 ・耐薬品性</td> <td></td> </tr> </table> 再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること。(PFの場合を除く) 目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 () 帯電防止 帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 ¹⁰ ~1x10 ¹² Ω程度 (19.2.2)				種類の記号	施工箇所	色 柄	特殊機能	厚さ(mm)	※FS		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重	※2.0	・		・柄物	・防滑性 ・耐薬品性																						
種類の記号	施工箇所	色 柄	特殊機能	厚さ(mm)																																				
※FS		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重	※2.0																																				
・		・柄物	・防滑性 ・耐薬品性																																					
3 ビニル床タイル	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色 柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・FT</td> <td></td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・KT</td> <td></td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・FOA</td> <td></td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> </table> 再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること。 帯電防止 帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 ¹⁰ ~1x10 ¹² Ω程度				種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ(mm)	・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0	・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0	・FOA		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性		・		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性							
種類の記号	施工箇所	色 柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ(mm)																																			
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0																																			
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0																																			
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性																																				
・		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性																																				
4 ビニル幅木	<table border="1"> <tr> <th>材質の種類</th> <th>軟質</th> <th>硬質</th> </tr> <tr> <td>高さ(mm)</td> <td>・60</td> <td>・75</td> </tr> <tr> <td>厚さ(mm)</td> <td>※1.5以上</td> <td>()</td> </tr> </table>				材質の種類	軟質	硬質	高さ(mm)	・60	・75	厚さ(mm)	※1.5以上	()																											
材質の種類	軟質	硬質																																						
高さ(mm)	・60	・75																																						
厚さ(mm)	※1.5以上	()																																						
5 ゴム床タイル	色 柄 () ・フラット ・凹凸 (19.2.2) 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) ()																																							
	特記仕様書（建築工事編）（7） 平成31年度版 高知県土木部 建築課 令和3年3月 交通安全こどもセンタートイレ改築工事 令和2年7月改正																																							
	松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			NO A-06																																				

6 カベツト敷き [G]	・織じゅうたん (19.3.2~3)(表19.3.1)					
	種 別	バイル形状	帯電性	織り方	色柄等	備 考
	・A種	・カットバイル	※人体帯電圧	・ウルトンカーベツト	・無地	
	・B種	・ループバイル	3kv以下	・ダブルフェースカーベツト	・柄物	
	・C種	・カット、ループ併用		・7キズシスターカーベツト	(標準品)	
	接合方法 ※ヒートボンヱ工法 ()					
	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ()					
	・タフテツドカーベツト					
	バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	備 考	
	・カットバイル	※5~7	・全面接着工法	※人体帯電圧		
・ループバイル	※4~6	・グリツパー工法	3kv以下			
・カット、ループ併用						
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ()						
・ニードルパンチカーベツト 厚さ(mm) () 帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ()						
・タイルカーベツト						
バイル形状	種 別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ(mm)	備 考	
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※ 6.5		
・カットバイル						
・カット、ループ併用						
帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 () タイルカーベツトの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き						
見切り、押え金物 ・適用する (材質、種類、形状等 ※図示 ())						
7 合成樹脂塗床	(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.4~8)					
	種 別	施工箇所	仕上げの種類			
	・厚膜型塗床材		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ			
	・弾性かつ樹脂系塗床					
	・厚膜型塗床材		・薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル工法 (※平滑 ・防滑)			
	エポキシ樹脂塗床					
・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ				
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2) ※「1(各章共通事項) . 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による						
8 フローリング張り	単層フローリング [G] (19.5.2~6)(表19.5.1~5)					
	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	間伐材等の適用	工 法
	・フローリングボード 1等	※なら	※15 ・12 ・18	幅 () 長さ ()	・	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法
	・フローリングブロック 1等	※なら	※15	※303×303	・	・接着工法 ※塗装品 ・無塗装品
	複合フローリング [G]					
	種 類	樹 種	種 別	厚さ(mm)	間伐材等の適用	工 法
	・天然木化粧複合フローリング	※なら	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法 緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) . 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による					
	種 別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床:) (19.6.2)(表19.6.1) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン [G]) () ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) . 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による					
	畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。 畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3種表の2等以上) ※適用する ・適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。					
9 畳敷き						

10 セツこうボード、 その他ボード及 び合板張り	(19.7.2)(表19.7.1)					
	種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等			
	・硬質木毛セメント板 [G]	HW	・15	・20	・25	・
	・中質木毛セメント板 [G]	MW	・15	・20	・25	・
	・普通木毛セメント板 [G]	NW	・15	・20	・25	・
	・硬質木片セメント板 [G]	HF	・12	・15	・18	・21
	・普通木片セメント板 [G]	NF	・30			
	・けい酸カルシウム板	0.8 FK 1.0 FK	タイプ2 (無石綿) ・6			・8
	・ロックウール化粧吸音板	DR	※フタツク7 (※ 9 (不燃) ・12 (不燃) ・) (不燃)			
	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※凸ツク7 (※ 12 (不燃) ・15 (不燃) ・)			
・ガラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25 (ガラスクロス包) ・				
・セツこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・9.5				
・不燃積層セツこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)				
・シージングセツこうボード	GB-S	12.5 (不燃 ・準不燃)				
・強化セツこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)				
・セツこうラスボード	GB-L	9.5				
・化粧セツこうボード (木目)	GB-D (W)	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※珪目 ・板目) 専用下地材有り				
・化粧セツこうボード (トラバーチン模様)	GB-D (T)	9.5 (準不燃)				
・普通合板 [G]		・生地、透明塗料塗り (ラウコン合板程度) ・不透明塗料塗り (しな合板程度)				
・天然木化粧合板 [G]						
・特殊加工化粧合板 [G]		・オーバーレイ ・プリント ・塗装				
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ1.2				
・ポリエステル樹脂化粧板						
・メディアムデンシファイナード [G]	G-MDF	・9 ・7 ・9 ・12 ・無研磨 ・研磨				
・単板張りパネルボード [G]		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・				
・化粧パーティクルボード [G]		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・				
・ハードボード (素地) [G]	HB	・無研磨板 (スタンダード・テンパード) ・研磨板 (スタンダード・テンパード)				
・ハードボード (化粧) [G]		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7				
・インシュレーションボード [G]	A-I B T-I B	A級 ・9 ・12 ・15 ・18				
・火山性ガラス複層板 化粧加工K2 密度A1 ・6 ・9 ・12 遮音シール材 ・適用する (シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) (19.7.2) 合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) . 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による 合板類の張付け ・A種 ※B種 (表19.7.3) セツこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法						
11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) . 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による (19.8.2)					
	施工箇所	壁紙の種類			防火性能	備 考
		紙	繊維	プラスチック	無機質	その他
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃
		・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃
		・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃
		・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃
	モルタル・プラスタ一面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 (19.8.3) コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 セツこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種					
	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) . 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による					
・断熱材打込み工法 (19.9.2)						
種 類						
・ビーズ法ポリエステルフォーム断熱材						
・押出法ポリエステルフォーム断熱材 (スキン層なし)						
・硬質ウレタンフォーム断熱材						
・フェノールフォーム断熱材						
・						
・						
・断熱材現場発泡工法 (19.9.3) 断熱材の種類 ※A種 1 ・A種 1H 吹付け厚さ (mm) ・25 ・30 ・ () 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示						
12 断熱材 [G]	(20.2.2)					
	施工箇所	構 法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N
						・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト
1 フリーフロア	(20.2.2)					

20 ユニツト及びその他の工事	表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・ () スロープ及びボデー ※製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30パーセント ・ () 配線取り出し開口 ※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上 ・図示 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ※なし ・有り (※固定式 ・可変式) : 施工箇所 (※図示 ()) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において 評価を取得したもの、又は同等のものとする。 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下および損傷なし ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない ローリングロード試験 耐荷重性能 (3,000N) : 積載荷重1,000Nの際、最大変形量1.5mm以下 (使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと) 耐荷重性能 (5,000N) : 積載荷重1,000N以上の際、最大変形量1.0mm以下 (使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと) (20.2.3)					
	構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面材		遮音性
	・スタック式 ・スタックパネル式 ・パネル式			材質	厚さ (mm)	パネル表面仕上げ
				※鋼板 ・	※0.6 ・0.8	※メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り
						・0 ・12 ・20 ・28 ・36
	パネル内に取り付ける建具 ・あり (図示 ()) ・なし 仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による					
	(20.2.4)					
	走行方向	操作方法	パネル圧接装置の操作方法	厚さ (mm)	パネル表面材	
					材質	仕上げ
	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ・パネル式		※鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り
					・36未満 ・36以上	
仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512 に準拠する						
(20.2.5)						
パネル表面材の材質		脚 部		ドアエッジ		
	形 状	材 質	形 状	材 質		
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ○高圧メラミン樹脂化粧板	※幅木 ・支柱	・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・	・標準 ○R	○アルミニウム製 (表面材と同色焼付塗装) ・ステンレス製 ・表面材と同材		
(19.2.2)						
施工箇所						
屋内	種 類	寸法 (mm)		厚さ (mm)		
	・塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル ・レジンコンクリート製	※300×300 ※300×300		※7.0		
屋外	種 類	寸法 (mm)		厚さ (mm)		
	・磁器又はせっ器質タイル ・レジンコンクリート製	・300×300 ・300×300		※30		
ブロックパターンは JIS T 9251 による						
(20.2.6)						
材 種						
・ステンレス製(SUS304) ピニルタイヤ入り	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド			
・	・約35	※接着工法 ・埋込み工法	※有り (※ビニル製 ・ステンレス製) ・無し			
(19.2.2)						
材 種						
表面仕上げ		直径 (mm)	取付箇所			
※集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドル	※クリアラッカー ・HL ・EP-G	・60 ・45				
(20.2.8)						
区 分						
・黒板	種 類	寸法(mm)	色 彩	形 式		
	※焼付け ・		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け		
・ホワイトボード	・ほうろう ・鋼製		白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け		
取付箇所 (図示 ()) (20.2.9) 寸法 (mm) ・ () ○図示 厚さ (mm) ※5 ○ (図示 ())						
特記仕様書 (建築工事編) (8)						
平成31年度版 高知県土木建築課						
令和3年3月						
交通安全こどもセンタートイレ改築工事						
令和2年7月改正						
松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史						
A-07						

⑩ 表示	(20.2.10)						
	区分	材質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考	
	・衝突防止表示 (・両面・片面)	・ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・		
	・室名札 ○ピクトグラフ ・とびら番号	※アクリル板 ○図示	※図示 ・	※5 ○図示	※図示 ・		
	・庁舎案内板 ・各階案内板 ・	※アクリル板 ・	※図示 ・	※5 ・	※図示 ・		
	案内用図記号は JIS Z 8210 による。 誘導標識、非常用進入口表示 ※消防法に適合する市販品						
	11 煙突ライニング	煙突用成形ライニング材 (20.2.11) 適用安全使用温度 上限温度 ・400℃ ・650℃ 下限温度 ・()					
	12 ブラインド	(20.2.12)					
	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	寸法・取付箇所
	※横形	・電動 ・手動	※キック式 ・コード式 ・操作棒式	※7%ミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
・縦形	・電動 ・手動	・1本操作コード式 ※2本操作コード式	・7%ミニウムスラット ・クロススラット	・80 ・100	※7%ミニウム合金製 ・	※図示 ・	
13 ロールスクリーン	(20.2.13)						
材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考		
※ポリエステル ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	※図示 ・			
14 カーテン	(20.2.14)						
ひだの種類	形式	開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考		
・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・アレンひだ・片ひだ ・ ・	・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け	・電動 ・ひも引き ・手引き		※図示 ・	(暗幕)		
15 カーテンレール	(20.2.14)						
材種	※7%ミニウム又は7%ミニウム合金の押し成型材 ・ステンレス製 ・()						
形式	・片引き ・引分け(暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)						
形状	・角形 ・()						
16 プライントックス及びカーテンボックス	溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ:) ・鋼製(仕上げ:) ・アルミニウム製 表面処理 ※BC-1 ・BC-2(色合い ・標準色 ・特注色)						
17 天井点検口	材種	寸法	形式	外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内
アルミニウム合金押出形材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6) (外部についてはB種又は同等品以上) をおこなったものとする。 内枠、外枠のコーナピース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理をおこなったものとする。 内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類とする。							
18 床点検口	材種	寸法	形式	枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス		
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内		
一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの							
材料の品質及び性能 (表14.2.1)							
使用部位	材料	屋内外用			屋内用		
受枠材 蓋枠材	7%ミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書表 14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種					
	ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度(目地ともの場合)					
	鋼材	-			鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313 SEHC)の類に一般さび止めペイント(JIS K 5621)、又はポリシ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの		

二重蓋の中蓋	鑄鉄	JIS G 5501 FC150, FC200					
目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B					
	ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304					
底板材 コーナピース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304	JIS G 4305	SUS430			
	7%ミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	-				
	鋼材	-	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313 SEHC)の類に一般さび止めペイント(JIS K 5621)、又はポリシ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの				
錠	亜鉛合金製(クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類	-					
開閉方式	施錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする						
パッキン材	塩化ビニル系ゴム 軟質塩化ビニル クロロプレン スポンジ エチレンプロピレン	枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。					
アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗装をおこなったもの					
取っ手	黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。						
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08%以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。						
19 くつつきマット	材種	受け枠	備考				
	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・					
20 旗竿	形式	材種	高さ(m)				
	・テーパー式 ・同一断面式	・アルミニウム合金製 ・					
	旗竿受金物	※ステンレス鋼(SUS304)製 ・					
21 車止めさく	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	備考		
	・上下式鎖内蔵式 (・標準品 ・スプリング式)	・ステンレス製 ・	・φ76.3 t=2.0 ・	・GL+700 ・			
22 フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ○鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・() ・図示						
23 敷地境界石標	種類 ※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう石類(文字記号等入り) 設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。 建て込みは監督職員の見直しを行う。 コンクリートの調合 容積比 セメント1：砂2：砂利4程度						
24 耐震スリット	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考		
	・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し			
25 止水板	目地(目地材の材質は標準仕様書表9.7.1)による)						
	目地	内 壁			外 壁		
	目地材	シーリング材(見え掛かり部のみ)			シーリング材(見え掛かり部のみ)		
	目地寸法(mm)	※幅 20 × 深さ 10			※幅 20 × 深さ 10		
26 エキスパンションジョイント金物	形式	・差込式 ・据置式 ・壁張り式					
	施工箇所	※図示					
27 ステンレス流し台	材質	・アルミニウム ・ステンレス					
	クリアランス	・50 ・100 ・150					
	耐火性能	・有り() ・無し					
28 吊り戸棚	・BL製品 (トランプ付) ・一般型 (水封50mm以上のトランプ付)						
29 水切り棚	・BL製品 ・一般型 ・公共住宅型						
30 コンロ台	・一般型(材種はステンレス鋼又はアルミニウム合金製)						
	・BL製品 ・一般型 ・公共住宅型						

31 ユニットバス	製造所() 型式()						
32 ケーラ-用スリ-蓋	プラスチック製(製造所:) 型式: ()						
33 フレキャストコンクリート	取付け方法 ・() ・図示 (20.3.4)						
34 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20.4.2~3)						
	材種	種類	質量区分	備考			
	・間知石 ・コンクリート間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩		・A ・B			
	積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・() ・図示 伸縮調整目地 材種及び厚さ ・() ・図示						
21 排水工事	(21.2.1~2)(表21.2.1)						
	材種	管の種類	形状	呼び径	備考		
	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B形管		屋内		
	○硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP [G] ○VP ・VU ・RS-VU [G]		○75			
	基礎の厚さ及び種類 ・() ○図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシャーラン [G] ・切込砂利 ・切込砕石 現場打ちの場合の足掛け金物 ・ステンレス製(・研磨なし ・合成樹脂被膜加工) ・鋼製(・研磨なし ・合成樹脂被膜加工) 側塊の形状及び寸法 ・() 排水柵、ふたの種類 ・() ・図示 凍上抑制層に用いる材料 ・() ・図示 砂の粒度試験 ・行う ○行わない						
2 鑄鉄製ふた	(21.2.1)						
	種類	適用荷重(安全荷重(kN))		鍵			
	・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン式)	・T-2用(5) ・T-6用(15) ・T-20用(50)		・有 ・無			
3 グレーチング	(21.2.1)						
	種類	形式	用途	適用荷重	メインレッチ 普通目 細目	亜鉛めっき (付着量)	上面形状
	・鋼製	※受枠付 ボルト 固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・ ・ ・ ・	・() ・() ・() ・()	※凹凸形 ・平形
	・ステンレス製	※受枠付 ボルト 固定 ・その他	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用			・凹凸形 ・平形
4 街きよ、緑石及び側溝	種類 ○緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた (21.3.1~2)(表21.3.1) 形状及び寸法 ・() ○図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシャーラン [G] ・切込砂利 ・切込砕石 凍上抑制層に用いる材料 ・() ・図示 砂の粒度試験 ・行う ○行わない						
22 舗装工事	1 路床	路床の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質安山砂 厚さは図示による (22.2.2) ・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 厚さは図示による ・フィルター層 ※砂 厚さは図示による 単位面積質量 60g/m ² 以上 (22.2.2~3)(表22.2.1) ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m ² 以上 厚さ(mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10 ⁻⁶ cm/sec 以上 盛土に用いる材料 (22.2.3)(表3.2.1) ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]					
		特記仕様書(建築工事編)(9)				平成31年度版	高知県土木建築課
		令和3年3月					
		交通安全子どもセンタートイレ改築工事				NO	A-08
		令和2年7月改正				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	

2 路盤	試験	砂の粒度試験 路床土の支持力比(CBR)試験 路床の締固め度の試験 現場CBR試験	※行う ※行う ※行う ※行う	・行わない ・行わない ・行わない ・行わない	(22.2.5)			
	厚さ	()	・図示	(22.3.2~3)(表22.3.1)				
3 アスファルト舗装	材料	・砕石(・クラッシュラン ・粒度調整砕石) ※再生材 G (・クラッシュラン ・粒度調整砕石) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G						
	構成及び厚さ	()	・図示	(22.4.2~3)				
④コンクリート舗装	加熱アスファルト混合物等の種類	(22.4.4)(表22.4.4)						
	区分	※一般地域 ・寒冷地域						
	表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)						
	基層	粗粒度アスファルト混合物(20)						
	シーラコート用の乳剤の種類	PK-1 ・PK-2						
	アスファルト混合物等の抽出試験	・行う ・行わない						
	構成及び厚さ	()	○図示	(22.5.2)				
	寒冷地の縁部立下り寸法等	()	・図示					
	早強ポルトランドセメント	・使用する						
	注入目地材料	※低弾性タイプ ・高弾性タイプ						
5 カラー舗装	洗い出し仕上げ	○洗い出し仕上げ						
	構成及び厚さ	()	・図示	(22.6.2)				
6 透水性 アスファルト舗装	舗装の種類	区分						
	※加熱系アスファルト混合物	・車道及び駐車場 ・歩行者用通路						
	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路						
	・常温系ニート工法	・車道及び歩行者用通路						
	・常温系塗布工法	・車道及び歩行者用通路						
	加熱系混合物に添加する材料	・着色骨材 ・自然石						
7 ブロック系舗装	配合	(22.6.3)						
	加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量	()						
	ニート工法及び塗布工法の配合等	()						
	加熱系アスファルト混合物の抽出試験	・行う ・行わない						
8 保水性歩行用 ブロック及び床タイル	構成及び厚さ	()	・図示	(22.7.2)				
	舗装材料	(22.7.3)						
	車道部	※改質アスファルトI型 ・()						
	歩道部	※ストレートアスファルト ・()						
	開粒度アスファルト混合物の抽出試験	・行う ・行わない						
	(22.8.2~3)							
	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考			
	・コンクリート 平板舗装	※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	※300角 ・	※60 ・	目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たき出し			
	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)		車道部 ※80 歩道部 ※60	曲げ強度(N/mm ²) 車道部 ※5.0 歩道部 ※3.0 着色及び表面加工 ※標準品 施工方法 ※うろこ張り ・クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ※コンクリート舗装()mm ・アスファルト舗装()mm			
	・舗石舗装	※小舗石(花崗岩) ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石		※80~100				
コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は、原則再生材料を用いた舗装用ブロック G とする。ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。								
製品の許容値								
形状	変形	長辺寸法(mm)	短辺寸法(mm)	厚さ(mm)	曲げ強さ(N/cm ²)			
・ブロック形状	そり	300未満	300以上	150以下	300以下	500以下	±2.0	500以上
	ねじれ	1.5以内	—	±1.5	±2.0	—		
・タイル形状	そり	1.2以内	1.5以内	±1.5	±1.5	±1.5	±1.5	120以上
	ねじれ	1.2以内	1.5以内	±1.5	±1.5	±1.5		
耐凍害性及び耐薬品性 JIS A 5209 の試験において、ひび割れ及びきじ又はうわぐすりにはがれ等の表面の異常の無いこと								
耐摩耗性	施ゆう	0.1g 以下						
	無ゆう	0.5g 以下						
保水性(吸水率)	体積比 15% 以上							
製品の許容値								

⑨ 砂利敷き	種別	・A種(施工範囲:・図示 ・通路 ()) ・B種(施工範囲:・図示 ・建物周囲 ())				(22.9.2)		
	10 路面表示用塗料	(JIS K 5665(路面表示用塗料)による)						
	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率	
	・1種 G	常温	液状	※白	・150	※1.0	塗料総質量に対して	
	・2種 G	加熱		・	・100	・	5%以下	
	※3種1号	熔融	砕体状					
	G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料							
23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 電気伝導度(EC)の試験					・行う ・行う	(23.1.3)
	2 植栽基盤の整備	(23.2.2, 4)						
		植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材		
		・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上12m未満 (※80・100) 樹高3m以上7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する		
		※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する		
		植栽基盤の排水設備 ・設ける(・暗きよ ・開きよ ・排水層 ・縦穴排水 ())						
	3 植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土						(23.2.3)
	4 土壌改良材	・パーク堆肥 G 〈仕様〉 有機物の含有率(乾物) : 70% 以上 炭素窒素比(C/N比) : 35 以下 陽イオン交換容量(乾物) : 70meq/100g 以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない 窒素全量(現物) : 0.5% 以上 りん酸全量(現物) : 0.2% 以上 加里全量(現物) : 0.1% 以上 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。 ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) G 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする 有機物の含有率(乾物) : 35% 以上 炭素窒素比(C/N比) : 20 以下 pH : 8.5 以下 水分 : 50% 以下 窒素全量(現物) : 0.8% 以上 りん酸全量(現物) : 1.0% 以上 アルカリ分(現物) : 15% 以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない) 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。						(23.2.3)
	5 樹木	樹種、寸法、株立数等 ()					・図示	(23.3.2)
	6 支柱	支柱材 ※丸太(間伐材) G ・真竹 () 形式 ・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形 ・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形 () ・図示					(23.3.2~3)	
7 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら、こも					(23.3.2)		
8 芝	※コウライシバ ・ノシバ ()					(23.4.2)		
9 吹付けは種	種子の種類 ※洋芝類(採取後2年以内) 種子の量 ※発芽率 80% 以上 ()					(23.4.2)		
10 地被類	樹種、芽立数、径及び単位面積当たりの株数 ()					・図示	(23.4.2)	
11 新植、移植樹木、芝等の枯補償	新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し () 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し ()					(23.3.4, 6) (23.4.7)(23.5.5)		
12 屋上緑化 G	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ () ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ:) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 () ・図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 () ・図示 ・屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 () ・図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 () ・図示					(23.5.2, 4)		
	支柱 ・設置する(形式 ・図示 ()) かん水装置 ・設置する(種類、工事区分 ・図示 ())							

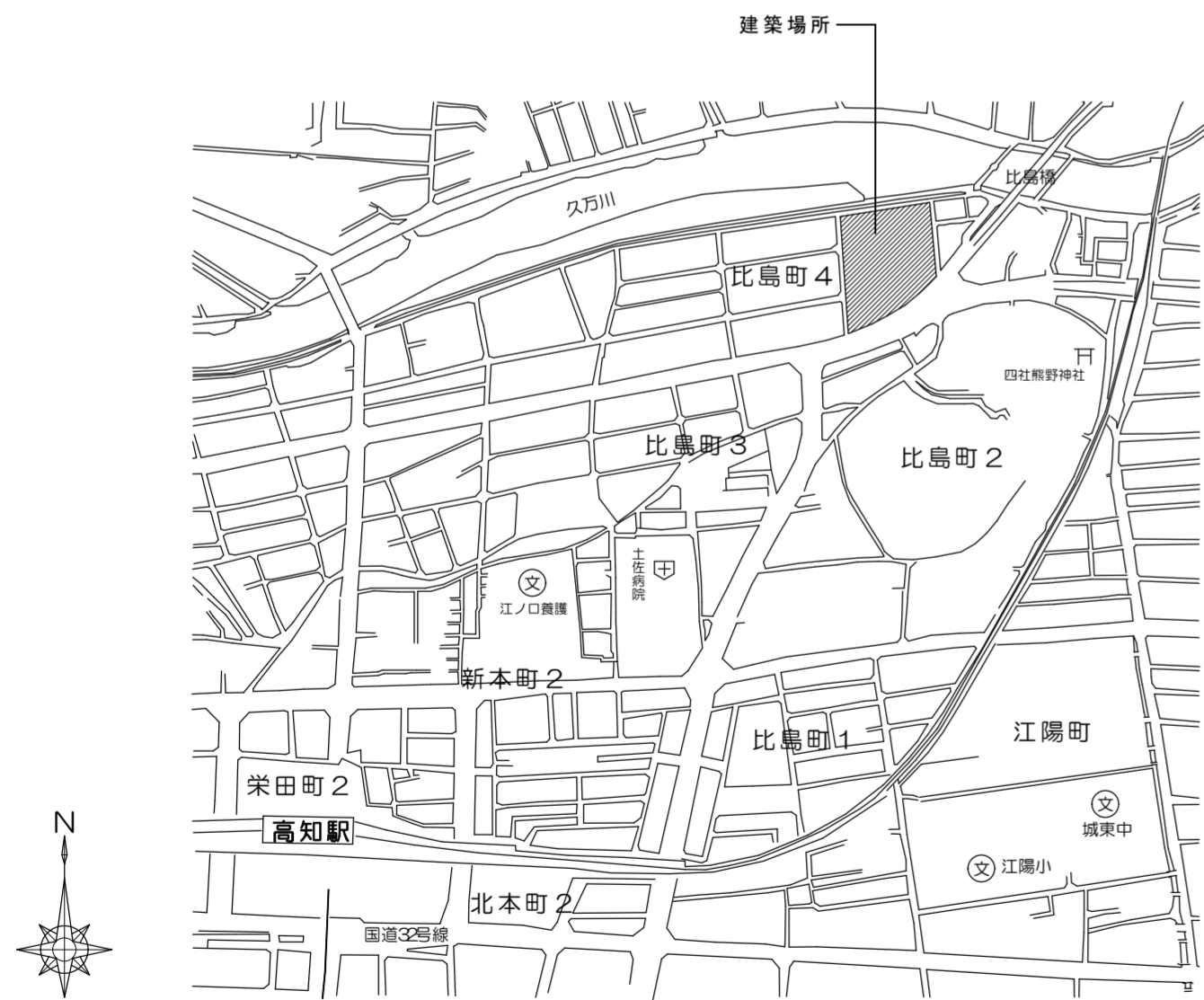
特記仕様書(建築工事編)(10)	
令和3年3月	平成31年度版 高知県土木部建築課
交通安全こどもセンタートイレ改築工事 令和2年7月改正	NO A-09 松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

工事概要

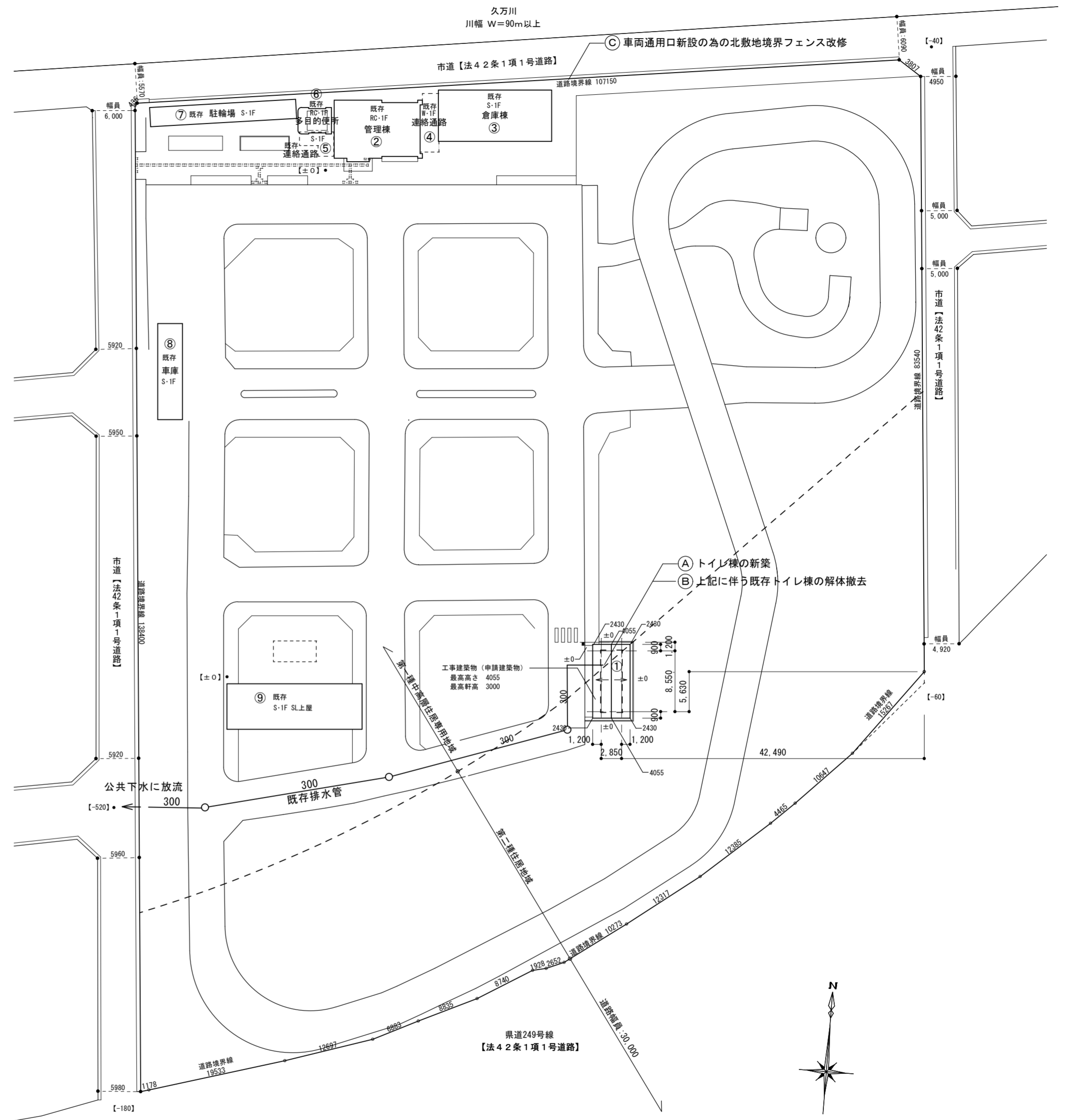
- Ⓐ トイレ棟の新築
- Ⓑ 上記に伴う既存トイレ棟の解体撤去
- Ⓒ 車両通用口新設の為の北敷地境界フェンス改修

敷地内棟面積一覧

棟名	構造	階数	用途	建築面積		床面積		備考
				申請部分 (新築棟)	申請外部分 (既存棟)	申請部分 (新築棟)	申請外部分 (既存棟)	
①	RC/W	1	トイレ棟 (公衆便所)	27.78		24.36		申請棟 (工事対象棟)
②	RC	2	管理棟 (交通安全教室)		95.44		185.18	最高高さ : 8.400m
③	S	1	倉庫棟		93.60		93.60	
④	W	1	連絡通路-1		11.52		11.52	
⑤	W	1	連絡通路-2		7.56		7.56	
⑥	RC	1	多目的便所 (公衆便所)		11.07		11.07	
⑦	S	1	駐輪場		55.45		55.45	
⑧	S	1	車庫		47.25		47.25	
⑨	S	1	SL上屋 (展示場)		109.98		121.28	
計				27.780	431.870	24.360	532.910	
合計					459.650		557.270	



付近見取図



配置図 1/500

工事名 交通安全こどもセンタートイレ改築工事

図面名 付近見取図・配置図

松本塚史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

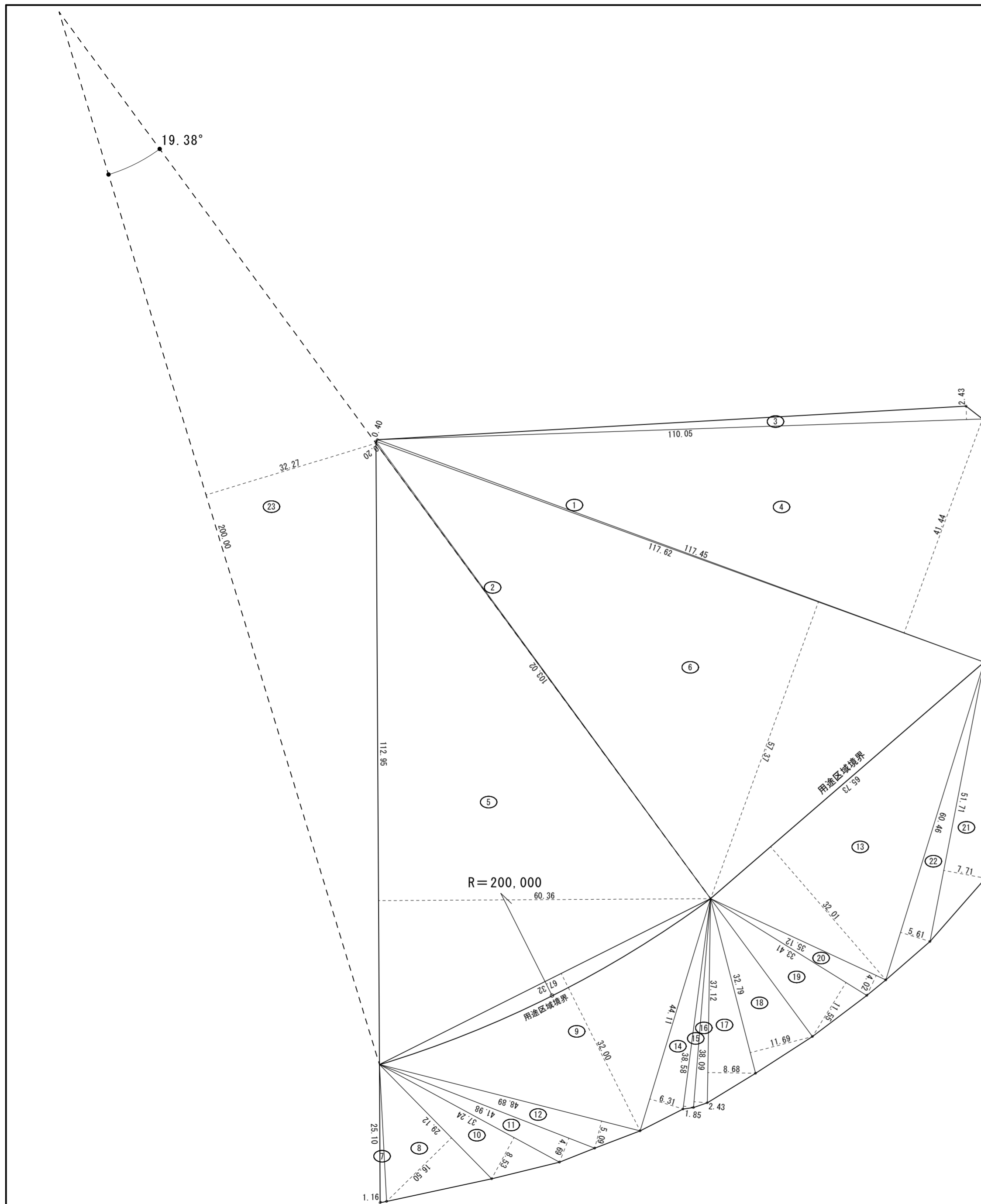
一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史

NO
A - 10

SCALE
1/500

用紙サイズによる縮尺補正値 A2 : 100% A3 : 70.7%

CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto



敷地面積 算定

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	117.62	0.40	47.0480	23.52400
2	103.02	0.20	20.6040	10.30200
3	110.05	2.43	267.4215	133.71075
4	117.45	41.44	4,867.1280	2,433.56400
5	112.95	60.36	6,817.6620	3,408.83100
6	117.62	57.37	6,747.8594	3,373.92970
7	25.10	1.16	29.1160	14.55800
8	29.12	16.50	480.4800	240.24000
9	67.32	32.00	2,154.2400	1,077.12000
10	37.24	8.53	317.6572	158.82860
11	41.98	4.69	196.8862	98.44310
12	48.89	5.09	248.8501	124.42505
13	65.73	32.01	2,104.0173	1,052.00865
14	44.11	6.31	278.3341	139.16705
15	38.58	1.85	71.3730	35.68650
16	38.09	2.43	92.5587	46.27935
17	37.12	8.68	322.2016	161.10080
18	32.79	11.69	383.3151	191.65755
19	33.41	11.55	385.8855	192.94275
20	35.12	4.02	141.1824	70.59120
21	51.71	7.71	398.6841	199.34205
22	60.46	5.61	339.1806	169.59030
合 計				13,355.84240
敷 地 面 積				13,355.84 m ²

第一種中高層住居専用地域 算定

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積	
1	117.62	0.40	47.0480	23.52400	
2	103.02	0.20	20.6040	10.30200	
3	110.05	2.43	267.4215	133.71075	
4	117.45	41.44	4,867.1280	2,433.56400	
6	117.62	57.37	6,747.8594	3,373.92970	
R200m部分				200.00 x 200.00 x 3.14 x 19.38 / 360	6,761.46667
23	200.00	32.27	6,454.0000	▲ 3,227.00000	
合 計				9,509.49712	
敷 地 面 積 (第一種中高層住居専用地域)				9,509.50 m ²	

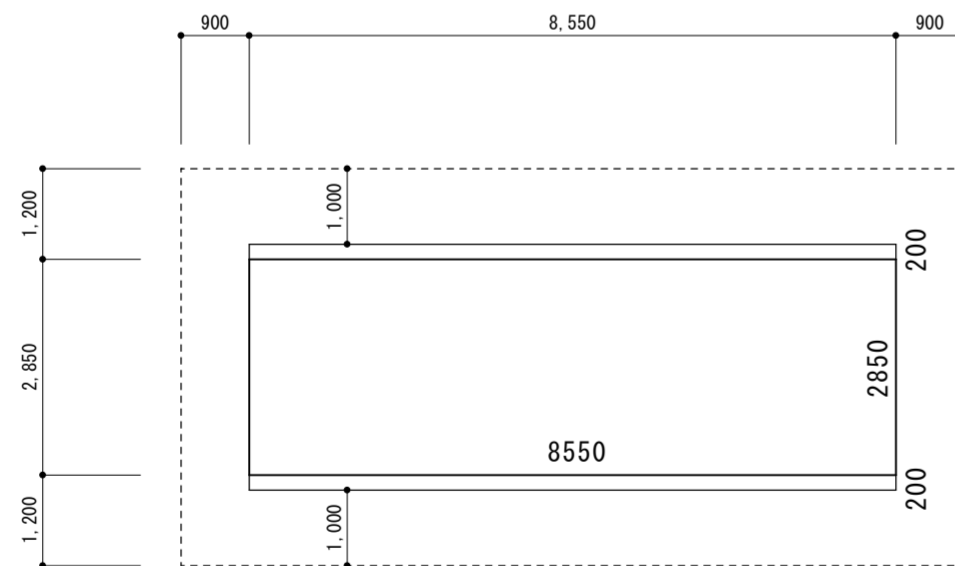
敷地面積集計表

敷 地 面 積			13,355.84 m ²
敷 地 面 積 (第一種中高層住居専用地域)			9,509.50 m ²
敷 地 面 積 (第二種住居地域)			3,846.34 m ²

※本求積図は、現状の南道路境界ピン若しくは工作物位置に基づき作成したことにより、従前の確認申請図書(H22計認建築高知市00007)と比べ敷地面積が減っている。

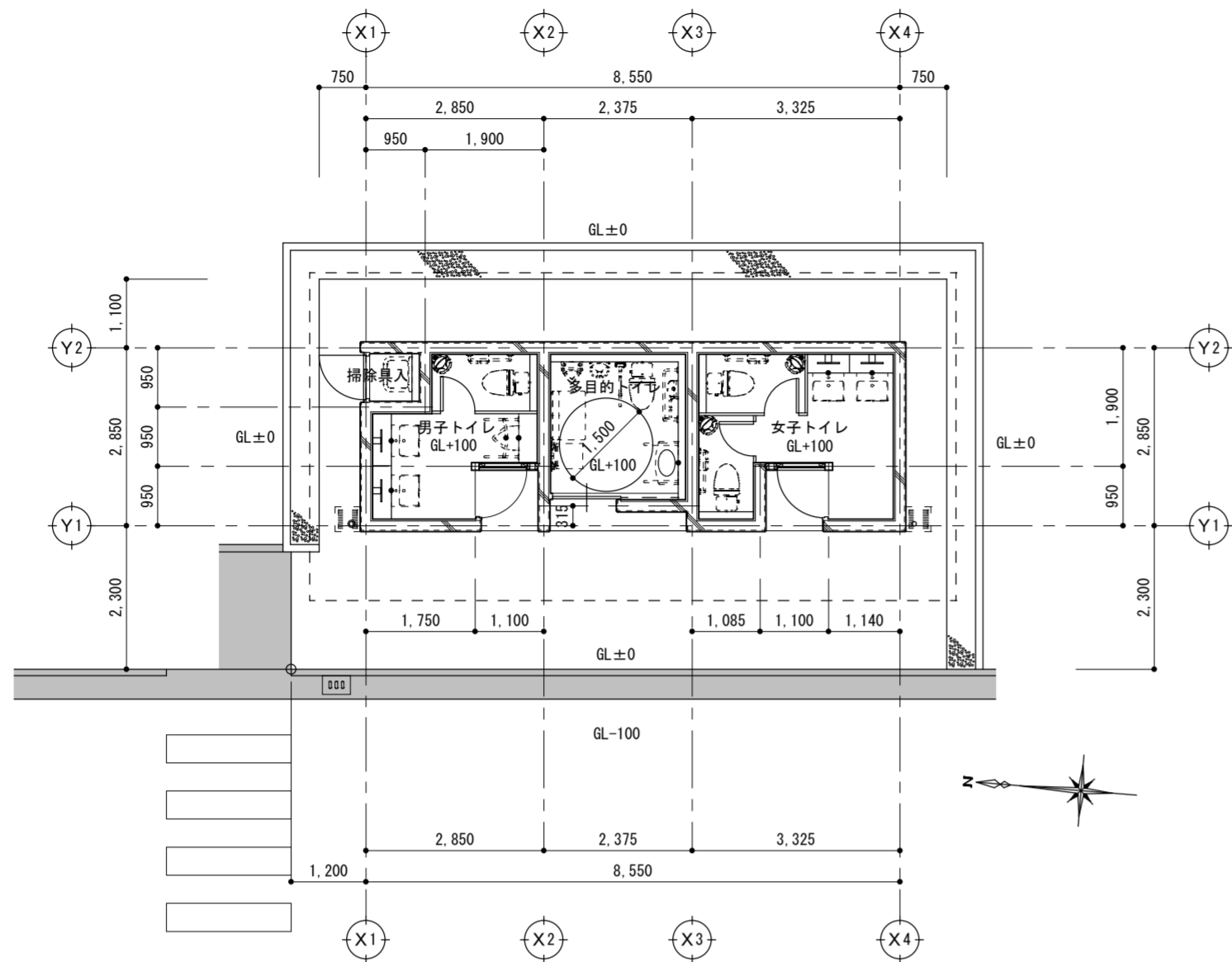
外部仕上表		特記事項
屋根	屋根：GLカラー鋼板t=0.4立ハゼ [〃] 葺 + 改質アスファルトルーフィング [〃] （接着材付） + 野地板 構造用合板t=15 + 化粧野地板 杉板 t=15 WP塗	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特記無くとも、表しの木部はすべてWP塗とする。 ・ 特記なき面台は、メラミンライニングカウンター
外壁	杉板型枠コンクリート打放 + コンクリート保護塗装（フッ素樹脂クリア） 一部 コンクリート打放 DP塗 東面のみ：コンクリート打放 + コンクリート保護塗装（フッ素樹脂クリア）	
根廻り	コンクリート打放 + コンクリート保護塗装（フッ素樹脂クリア）	
軒天	化粧野地板表し（杉板 t=15 WP塗）	
樋	軒樋：既成品亜鉛処理スチール芯軒樋 住宅用 メタリック調・自在ドレン2箇所・全域 落葉よけネット共 縦樋：既成品縦樋60サイズ 住宅用 メタリック調	
土間・犬走り	入口前土間：コンクリート洗い出し仕上げ、犬走り：コンクリート金コテ仕上げ	

内部仕上表							
階	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
1階	男子トイレ	300角床タイル張 一部 おだれ石張	50角モザイクタイル張	コンクリート打放し 面台部：50角モザイクタイル張	化粧野地板表し（杉板 t=15 WP塗） 入口部 木ルバ [〃] 桧30×30@75 WP塗		鏡：既製品 350×150×1000 2台（間接照明タイプ） 面台：メラミンライニングカウンター
	掃除具入	モルタル金コテ押え	コンクリート打放し	コンクリート打放し	化粧野地板表し（杉板 t=15 WP塗）		面台：メラミンライニングカウンター
	多目的トイレ	300角床タイル張	50角モザイクタイル張	コンクリート打放し 面台部：50角モザイクタイル張	化粧野地板表し（杉板 t=15 WP塗） 入口部 木ルバ [〃] 桧30×30@75 WP塗		鏡：既製品 500×11×1000 1台（フリーサイズタイプ） 面台：メラミンライニングカウンター
	女子トイレ	300角床タイル張	50角モザイクタイル張	コンクリート打放し 面台部：50角モザイクタイル張	化粧野地板表し（杉板 t=15 WP塗） 入口部 木ルバ [〃] 桧30×30@75 WP塗		鏡：既製品 350×150×1000 2台（間接照明タイプ） 面台：メラミンライニングカウンター

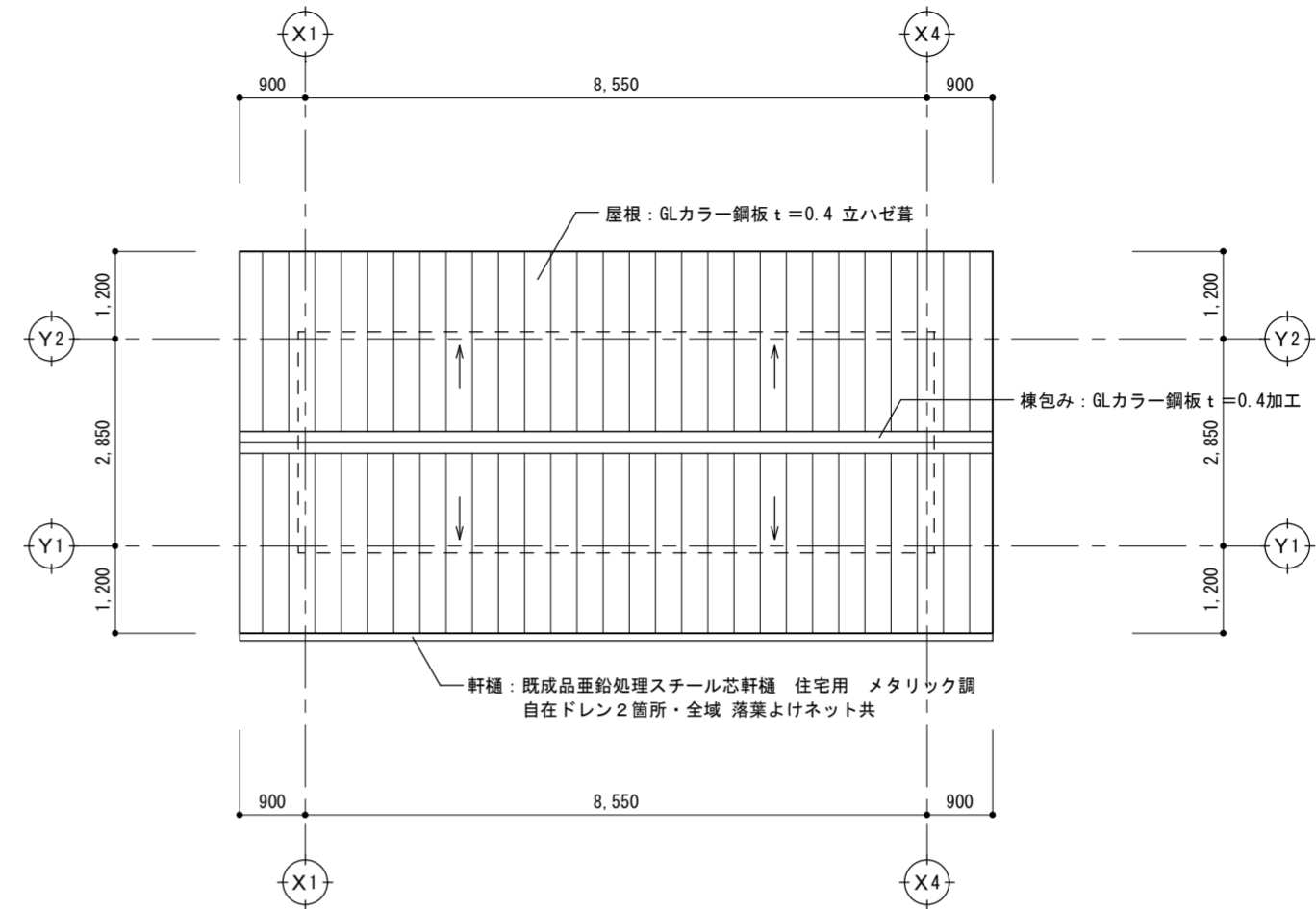


求積図 S=1/100

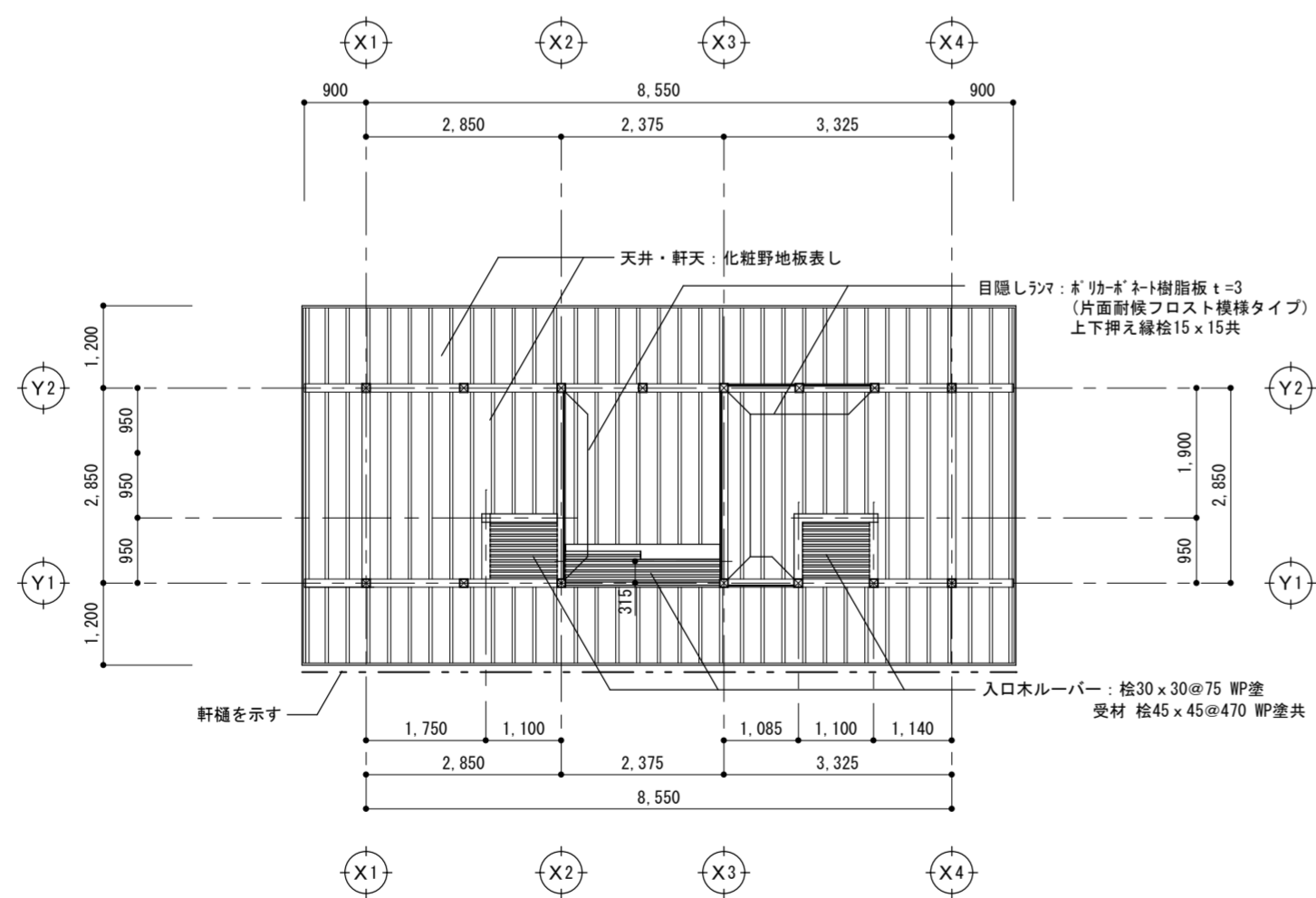
延床面積：
 $8.55 \times 2.85 = 24.36 \text{ m}^2$
 建築面積：
 $8.55 \times 3.25 = 27.78 \text{ m}^2$



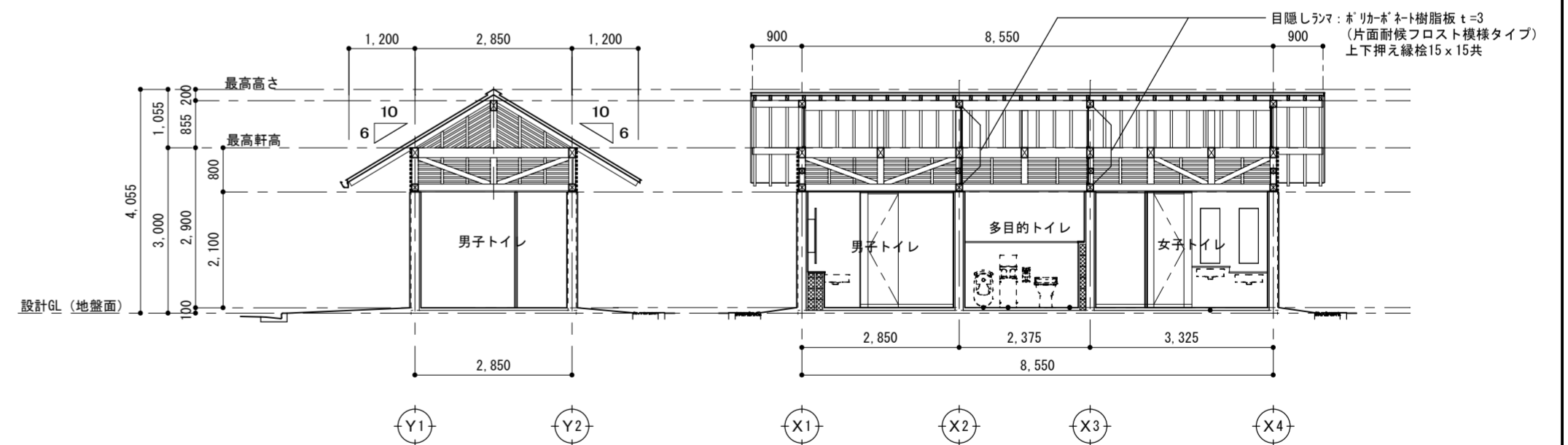
平面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



天井伏図 S=1/100



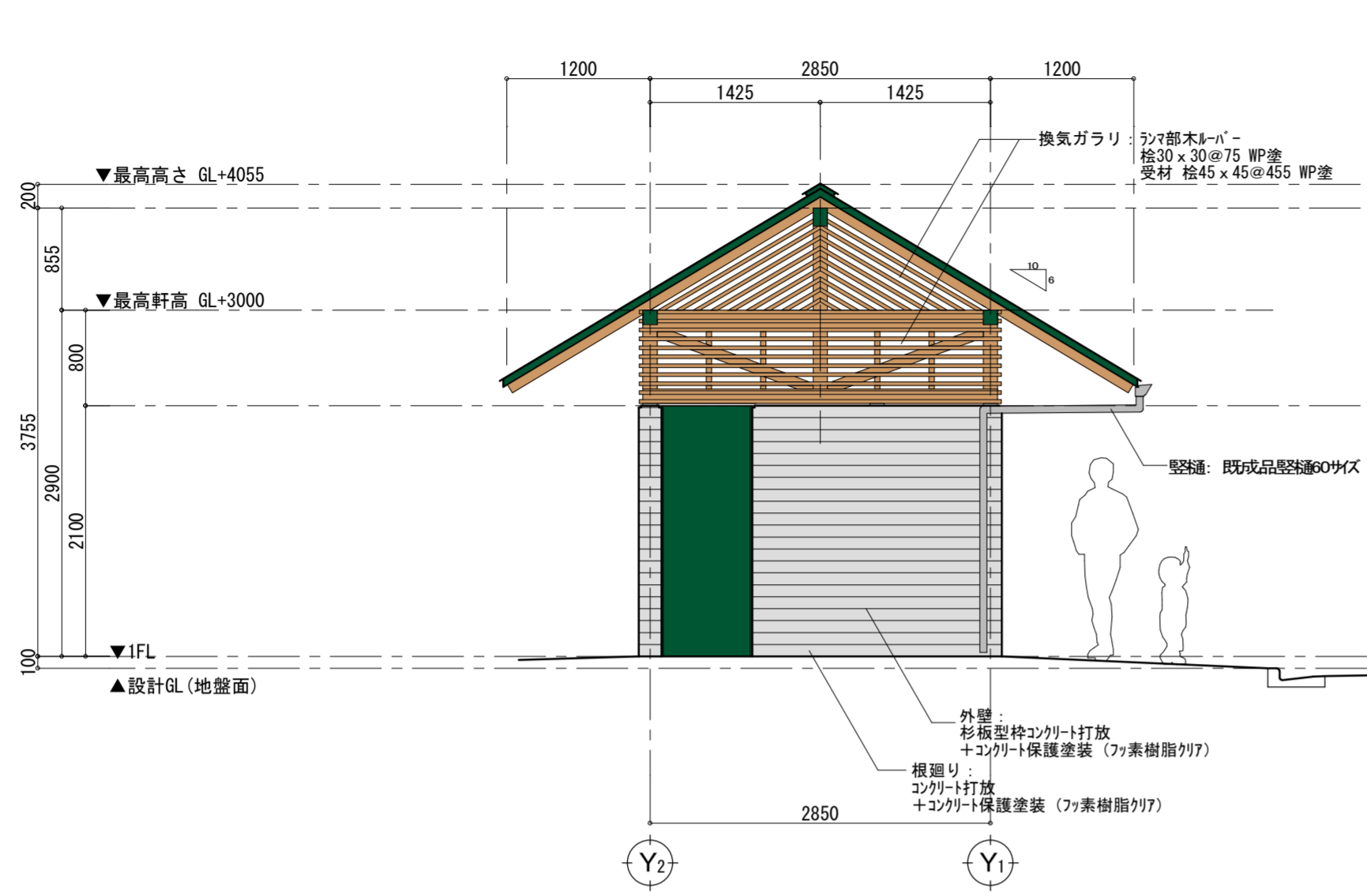
断面図(1) S=1/100

断面図(2) S=1/100

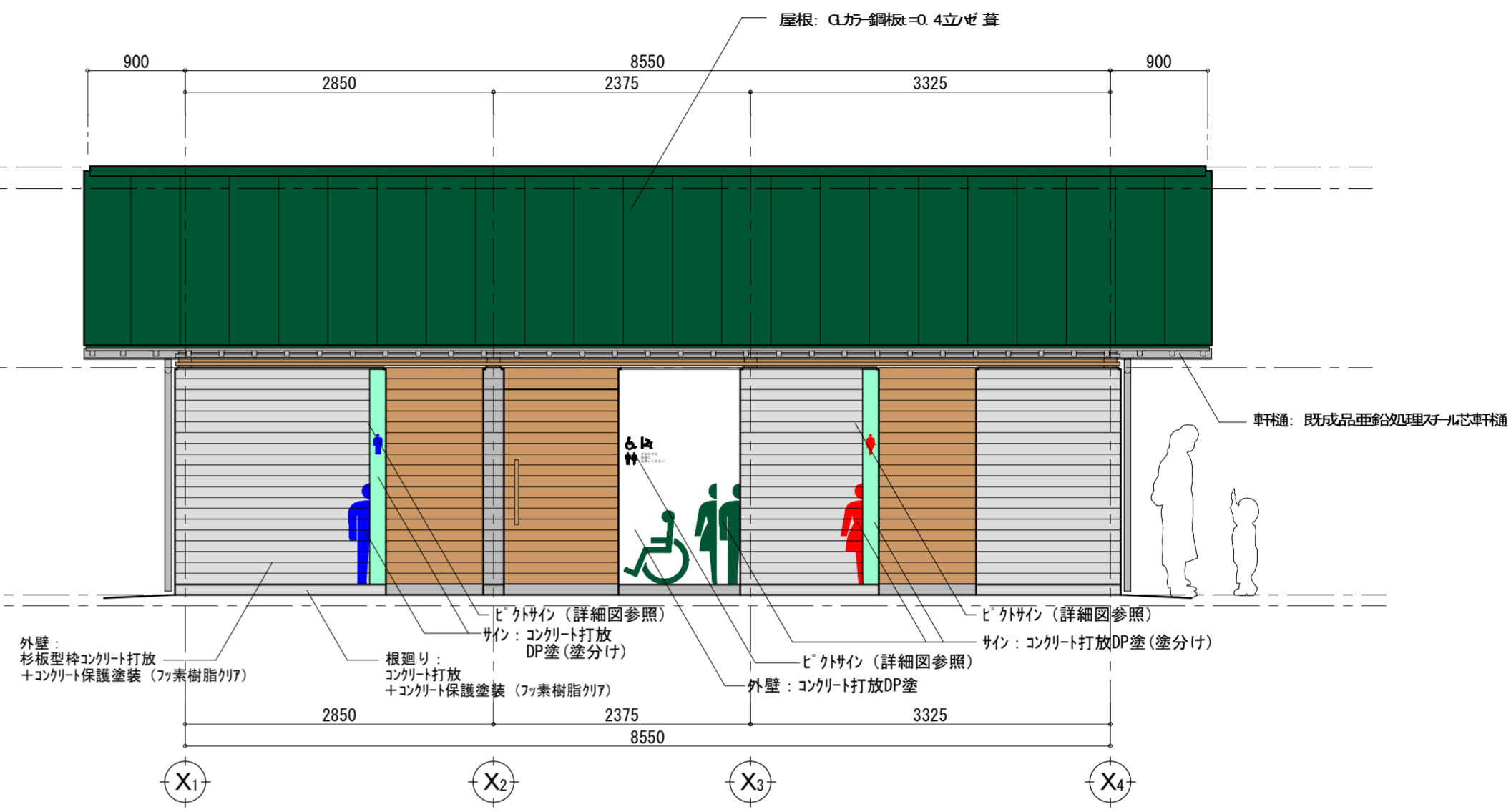
工事名	交通安全こどもセンタートイレ改築工事
図面名	平面図・屋根伏図・断面図・天井伏図
用紙サイズによる縮尺補正値	A2: 100% A3: 70.7%

CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto
------------	--	----------	-----------

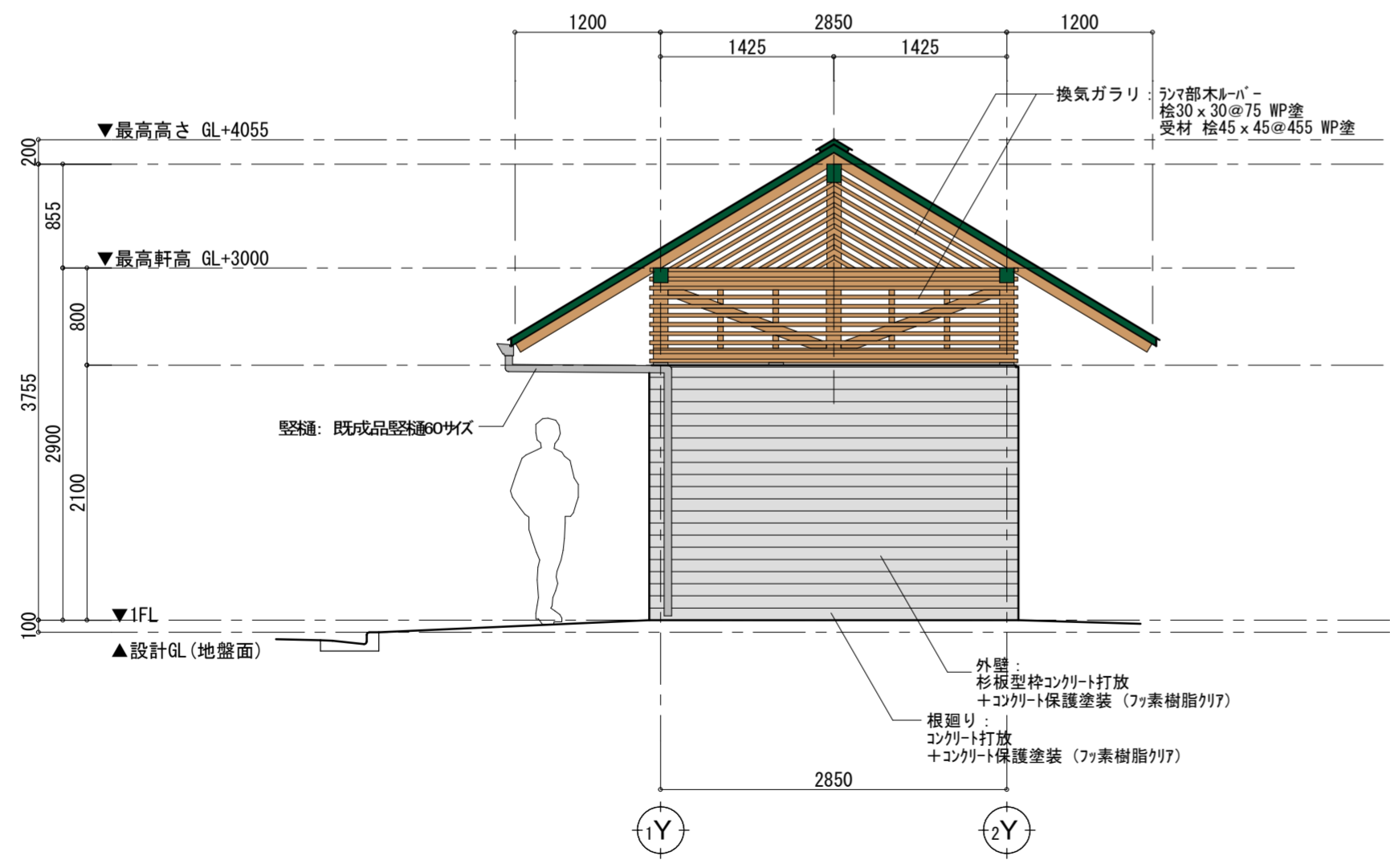
NO	A - 13
SCALE	1/100
松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史	



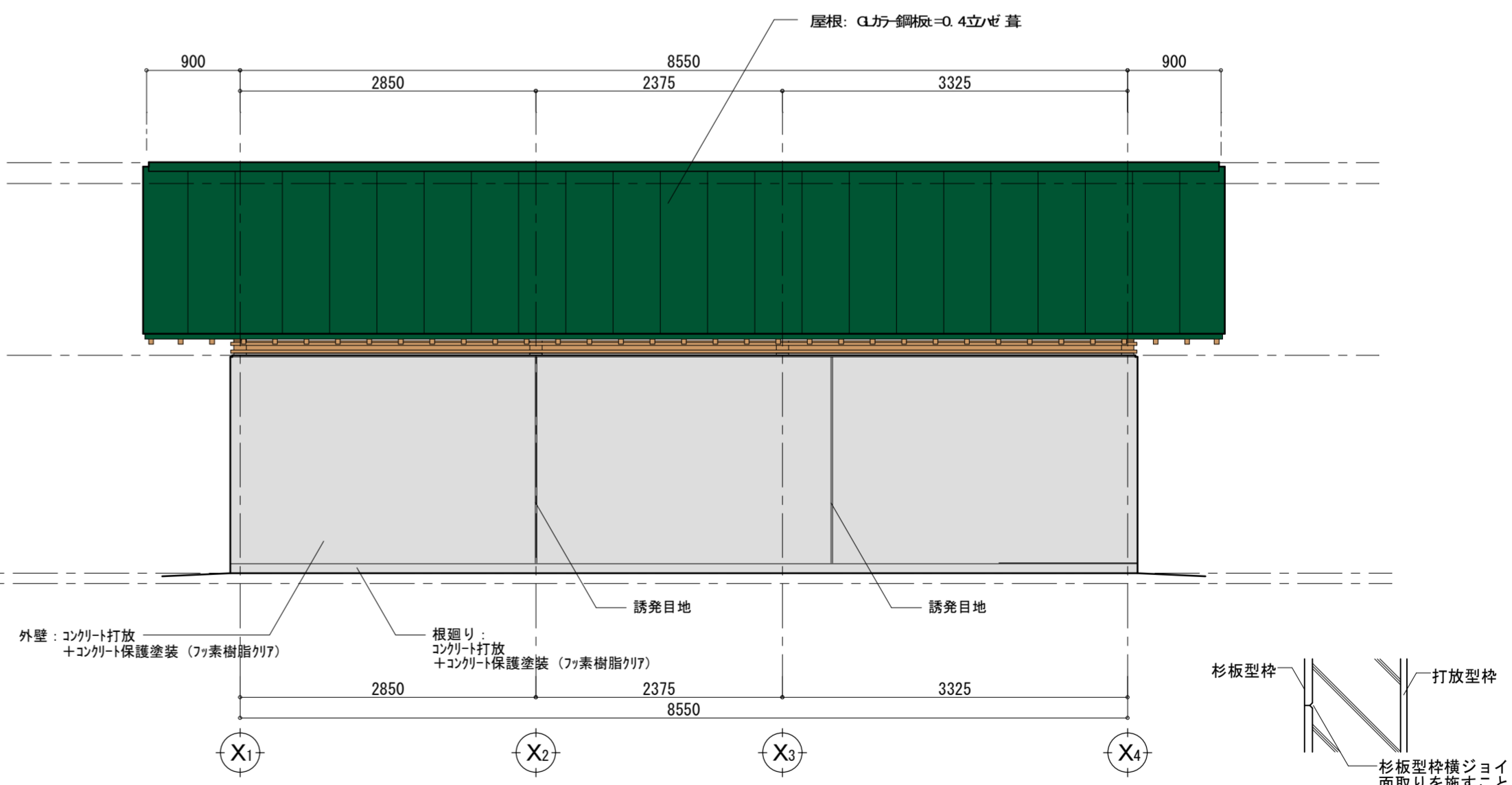
北立面図 S=1:50



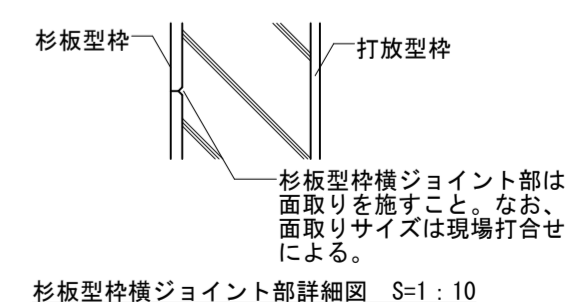
西立面図 S=1:50



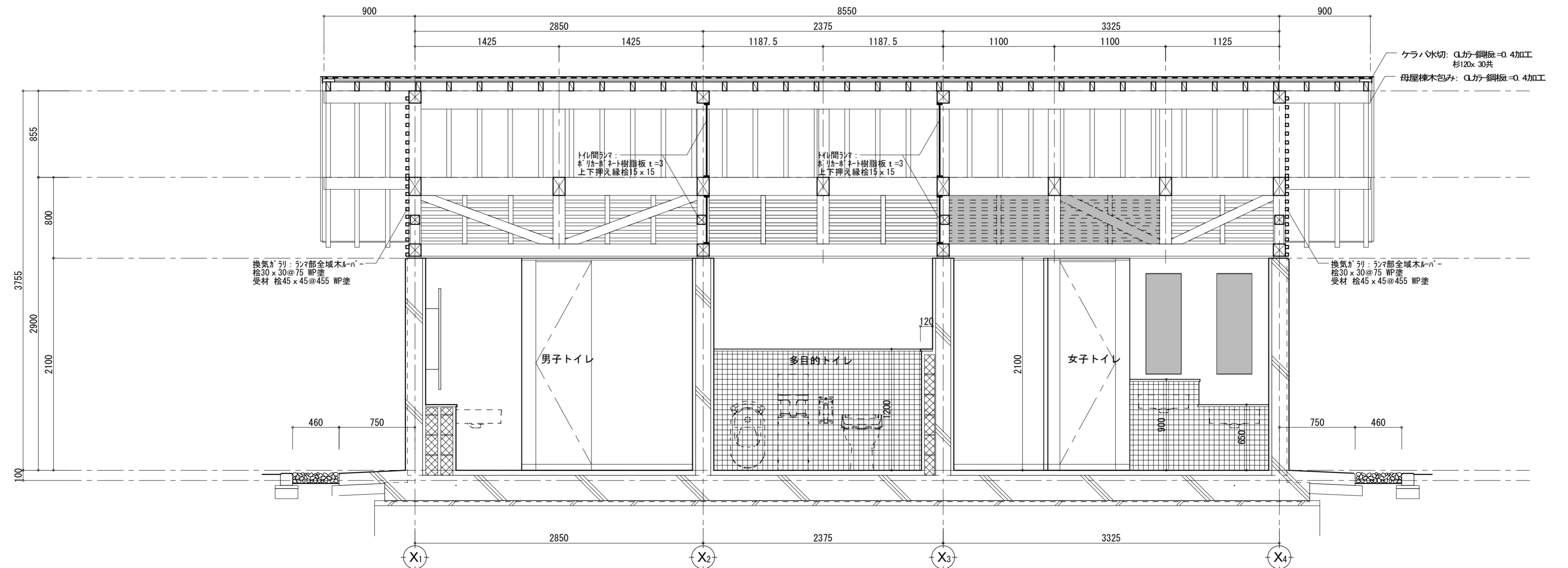
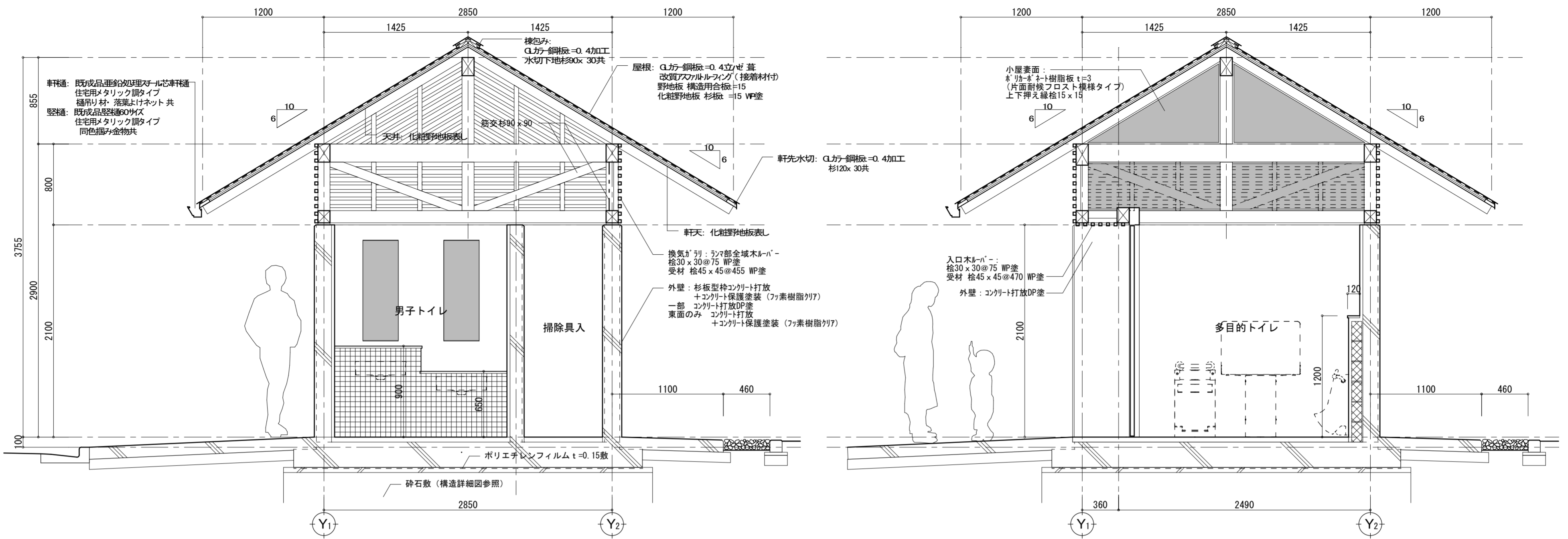
南立面図 S=1:50



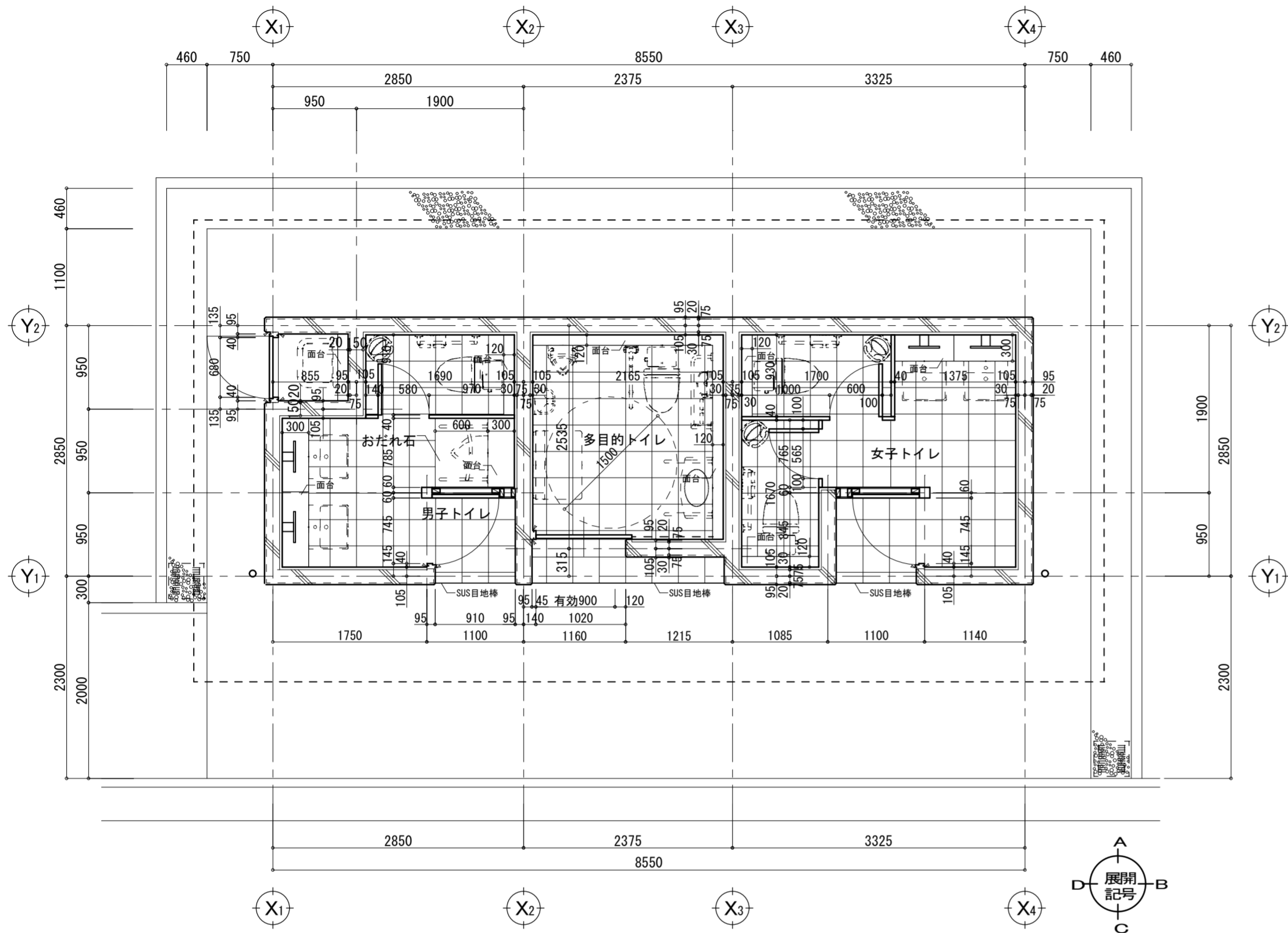
東立面図 S=1:50



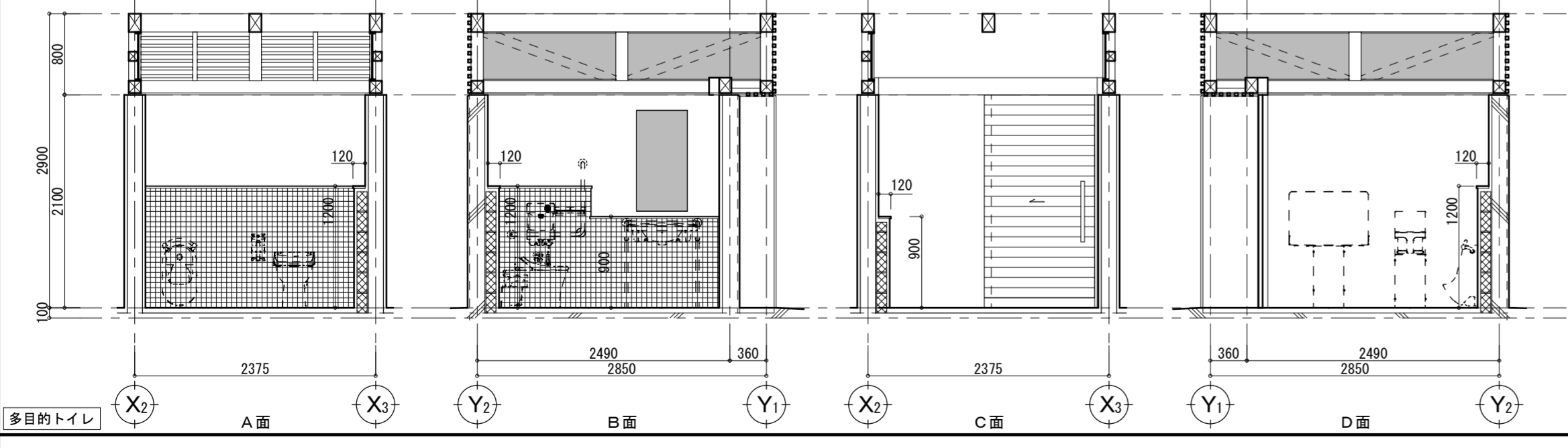
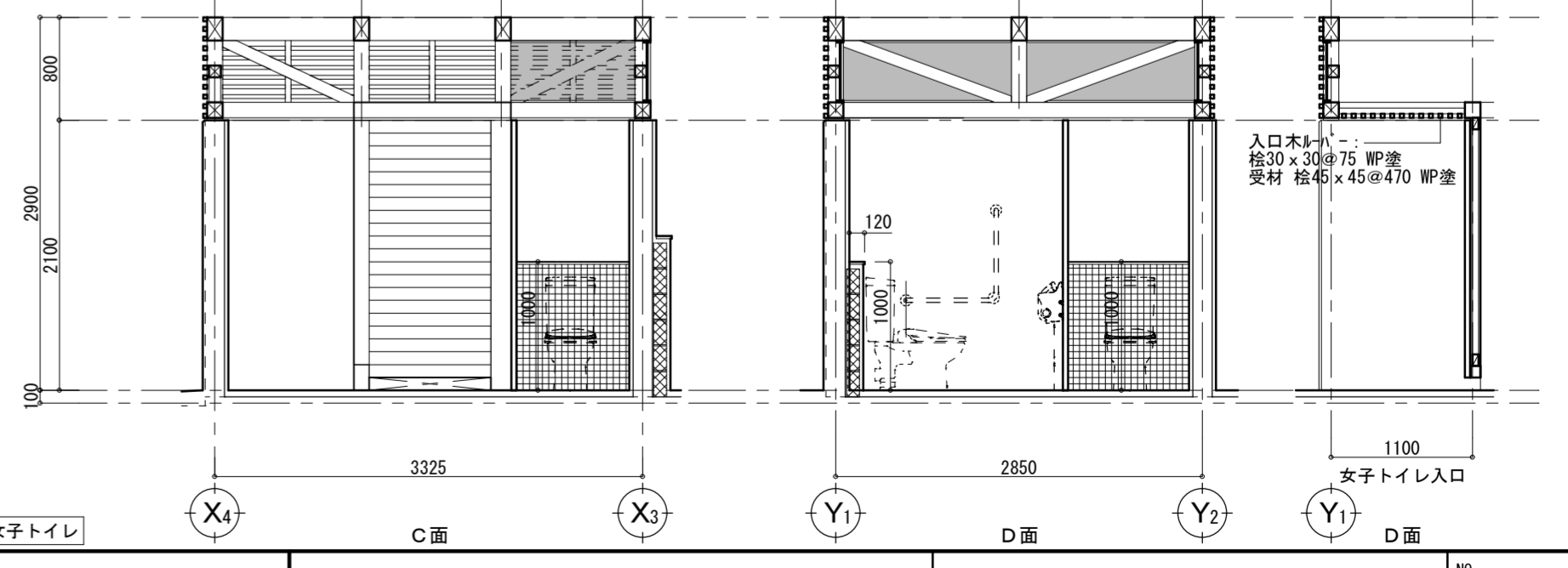
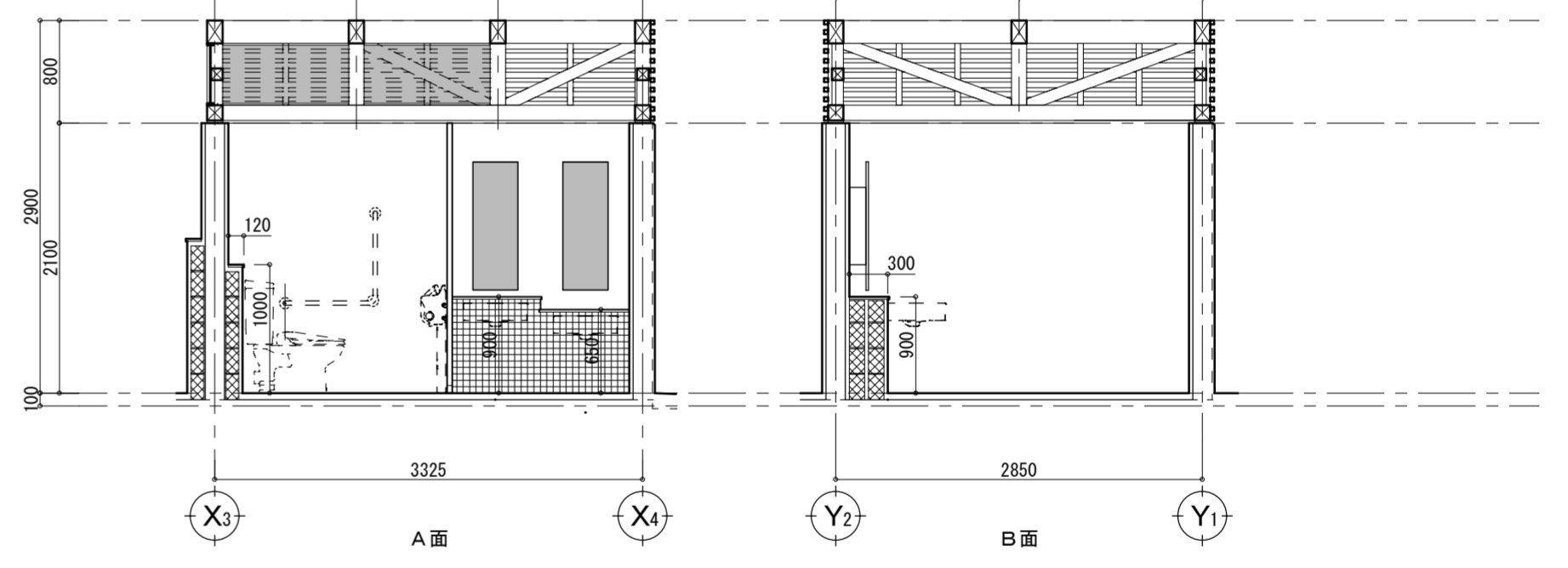
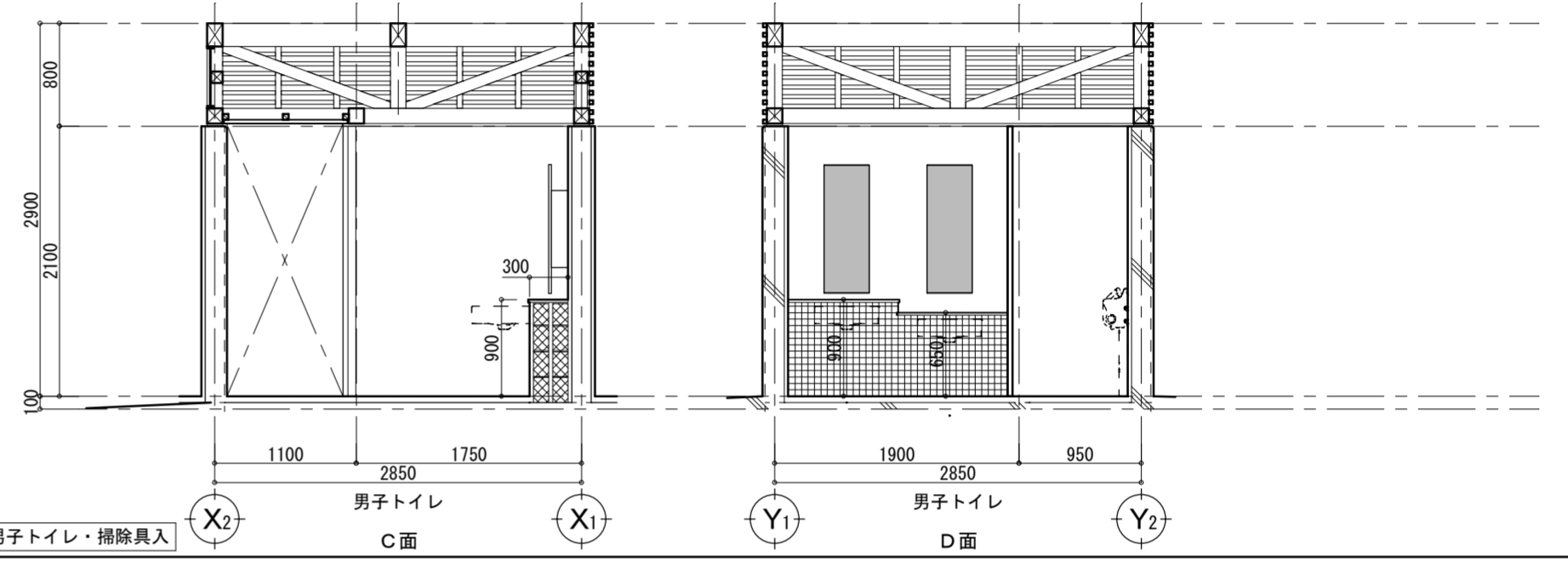
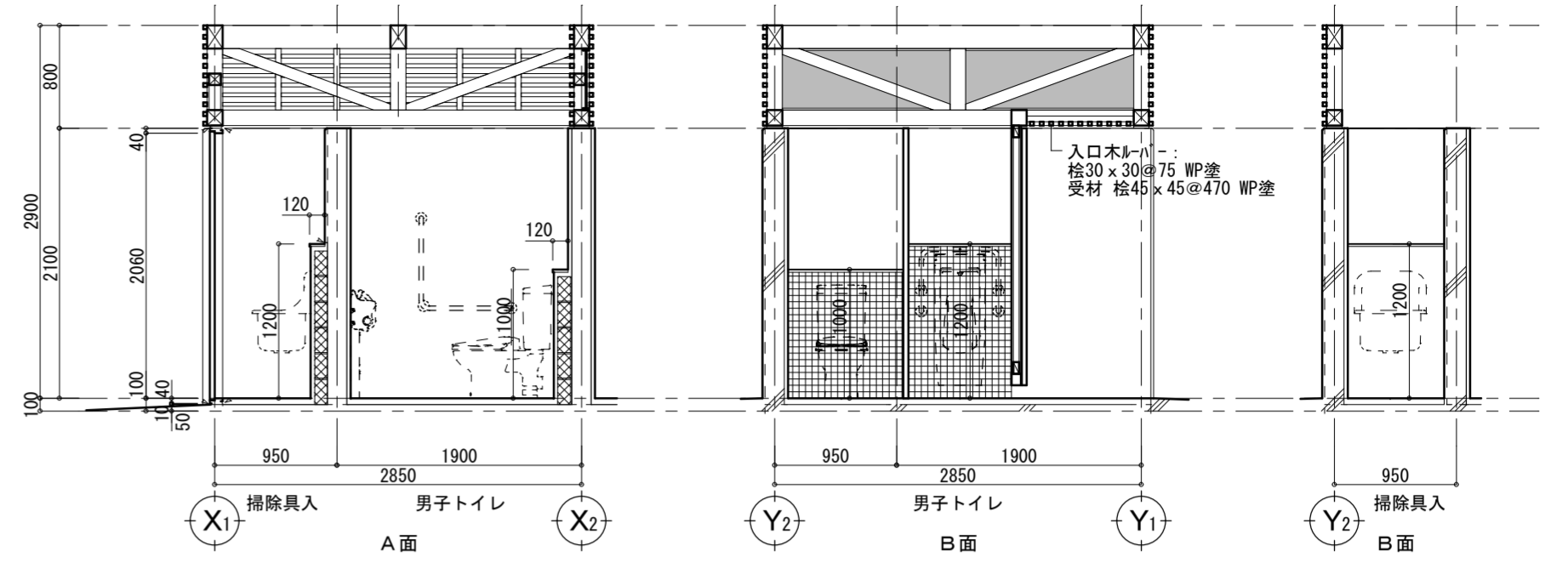
用紙サイズによる縮尺補正値 A2:100% A3:70.7%		工事名 交通安全子どもセンタートイレ改築工事	NO
図面名 立面図		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	A-14
CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	SCALE
			1/50



		工事名	交通安全子どもセンタートイレ改築工事			NO	A - 15
		図面名	矩計図			SCALE	1/100
用紙サイズによる縮尺補正值 A2 : 100% A3 : 70.7%		CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
				松本琢史建築設計事務所		TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	

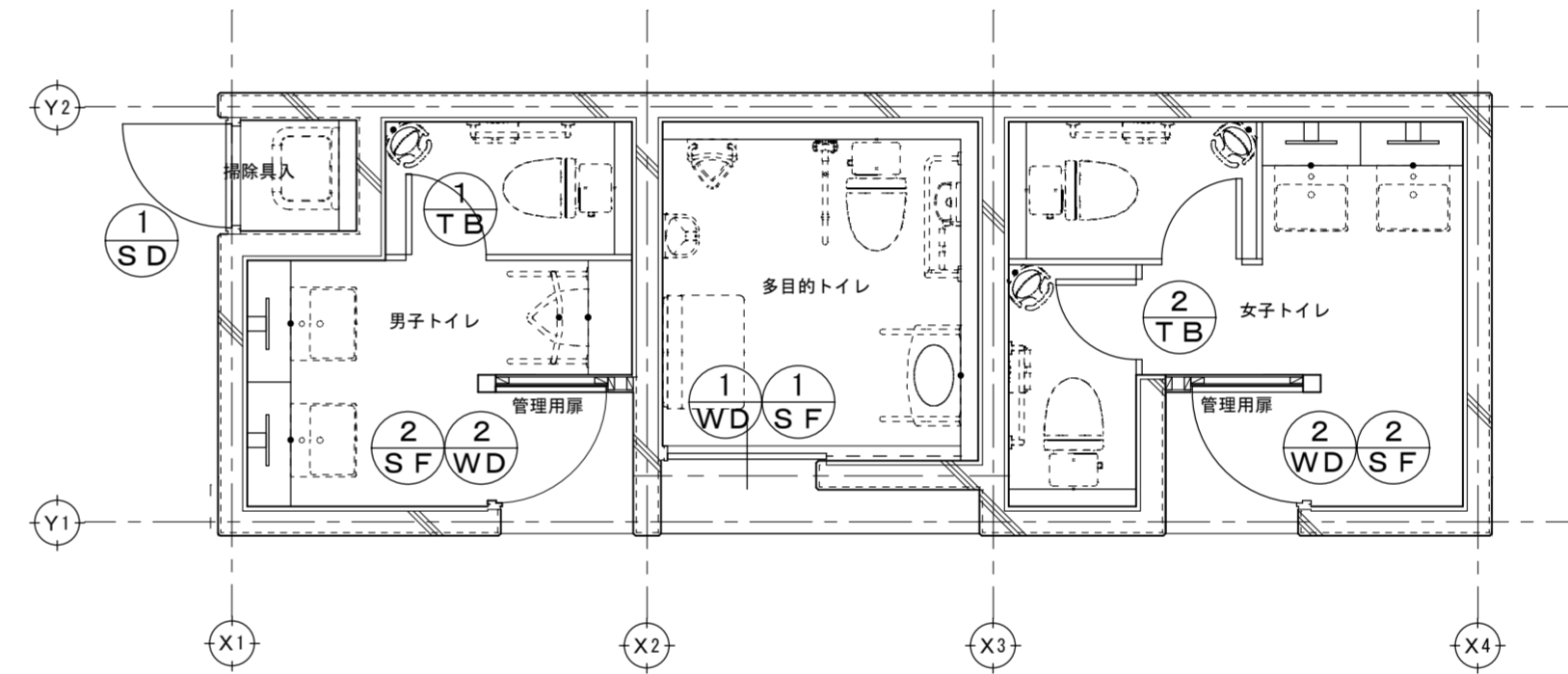


平面詳細図 S=1:50



工事名		交通安全子どもセンタートイレ改築工事		松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO	A - 16
図面名		平面詳細図・展開図		SCALE		1/50	
用紙サイズによる縮尺補正值		A2: 100% A3: 70.7%		CHECKED BY		DRAWN BY Matsumoto	
				一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史			

記号	① SD	掃除具入	ヶ処数：1					
形状 寸法	<p>見込：40 枠見込：100</p>							
名称・材種	スチールフラッシュ戸							
金物	シンガ-カム錠・ケースハンドル・SUS丁番(3枚吊)・DC							
塗装・仕上	DP塗							
ガラス								
備考	SUS下枠、スチール3方枠(下部H150SUS) DP塗							
記号	① WD	① SF	多目的トイレ	ヶ処数：1	② WD	② SF	男子トイレ・女子トイレ	ヶ処数：2
形状 寸法	<p>見込：40 枠見込：100</p>				<p>見込：40 枠見込：100</p>			
名称・材種	検板フラッシュ片引き戸				検板フラッシュ片引き戸			
金物	大型表示錠・ドアハンドルL450(Φ257㎜製黒色焼付塗装品)・上吊り金物一式・戸当				両側シンガ-錠・ケースハンドル(表裏各1個)・SUS丁番(3枚吊)			
塗装・仕上	木部：WP塗 スチール部：DP塗				木部：WP塗 スチール部：DP塗			
備考	SF1：スチール1方枠(下部H150SUS)・上吊り金物スチールカバー DP塗				SF2：スチール1方枠(下部H150SUS) DP塗			
記号	① TB	男子トイレ	ヶ処数：1	② TB	女子トイレ	ヶ処数：1		
形状 寸法	<p>見込：40</p>				<p>見込：40</p>			
名称・材種	トレブ-ス 高圧マリン樹脂化粧板A-7(詳細図参照)				トレブ-ス 高圧マリン樹脂化粧板A-7(詳細図参照)			
金物	7㎜笠木(焼付塗装仕上)・ケ-ルチ-ヒンジ・表示付スライドロック(非常解錠付)				7㎜笠木(焼付塗装仕上)・ケ-ルチ-ヒンジ・表示付スライドロック(非常解錠付)			
ガラス	SUS巾木・戸当帽子掛・付属金物一式				SUS巾木・戸当帽子掛・付属金物一式			
備考								

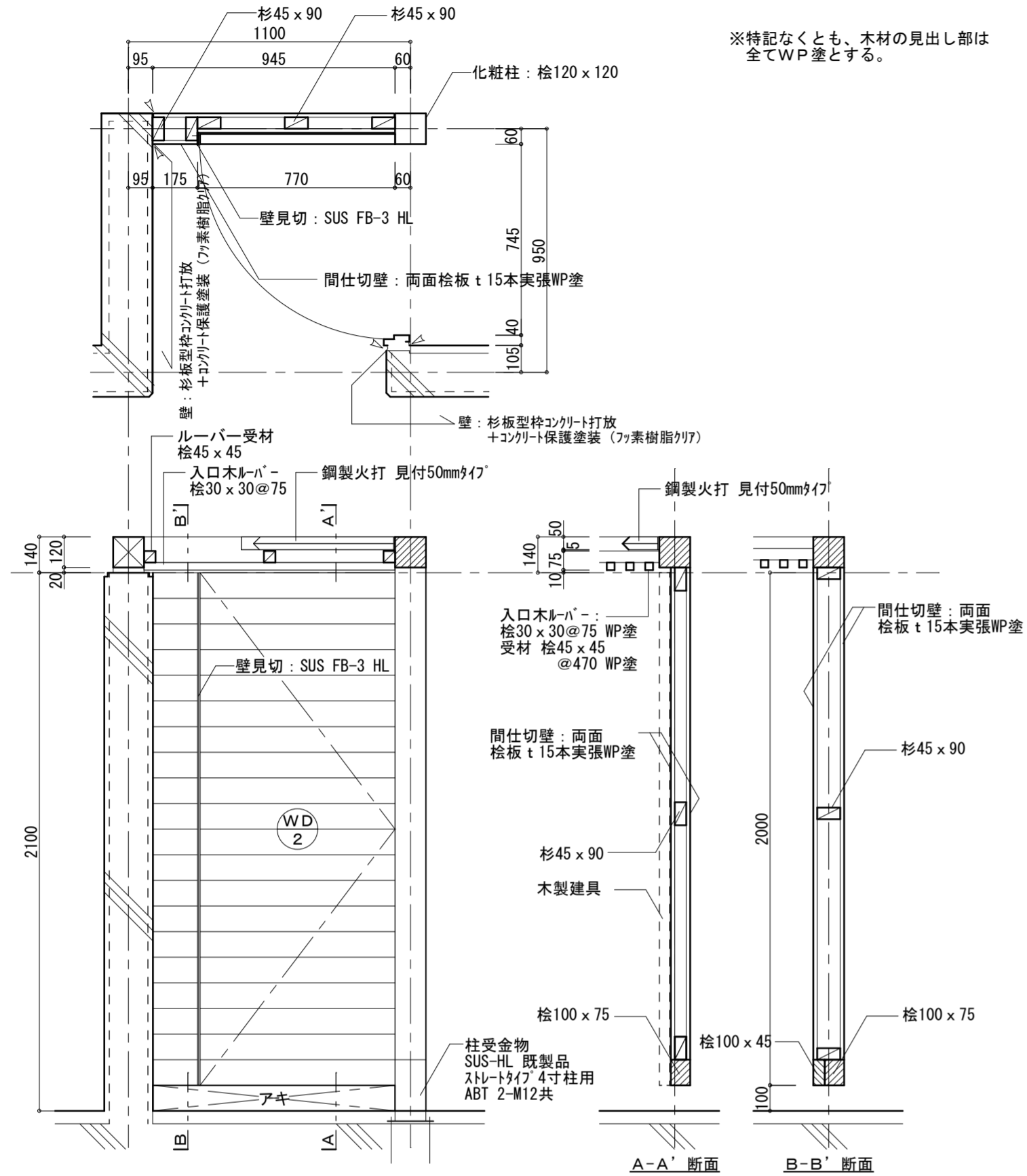


建具配置図 S=1/50

用紙サイズによる縮尺補正値 A2：100% A3：70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	工事名	交通安全こどもセンタートイレ改築工事	松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史	NO	A-17
							図面名	建具配置図・建具表		SCALE	1/50

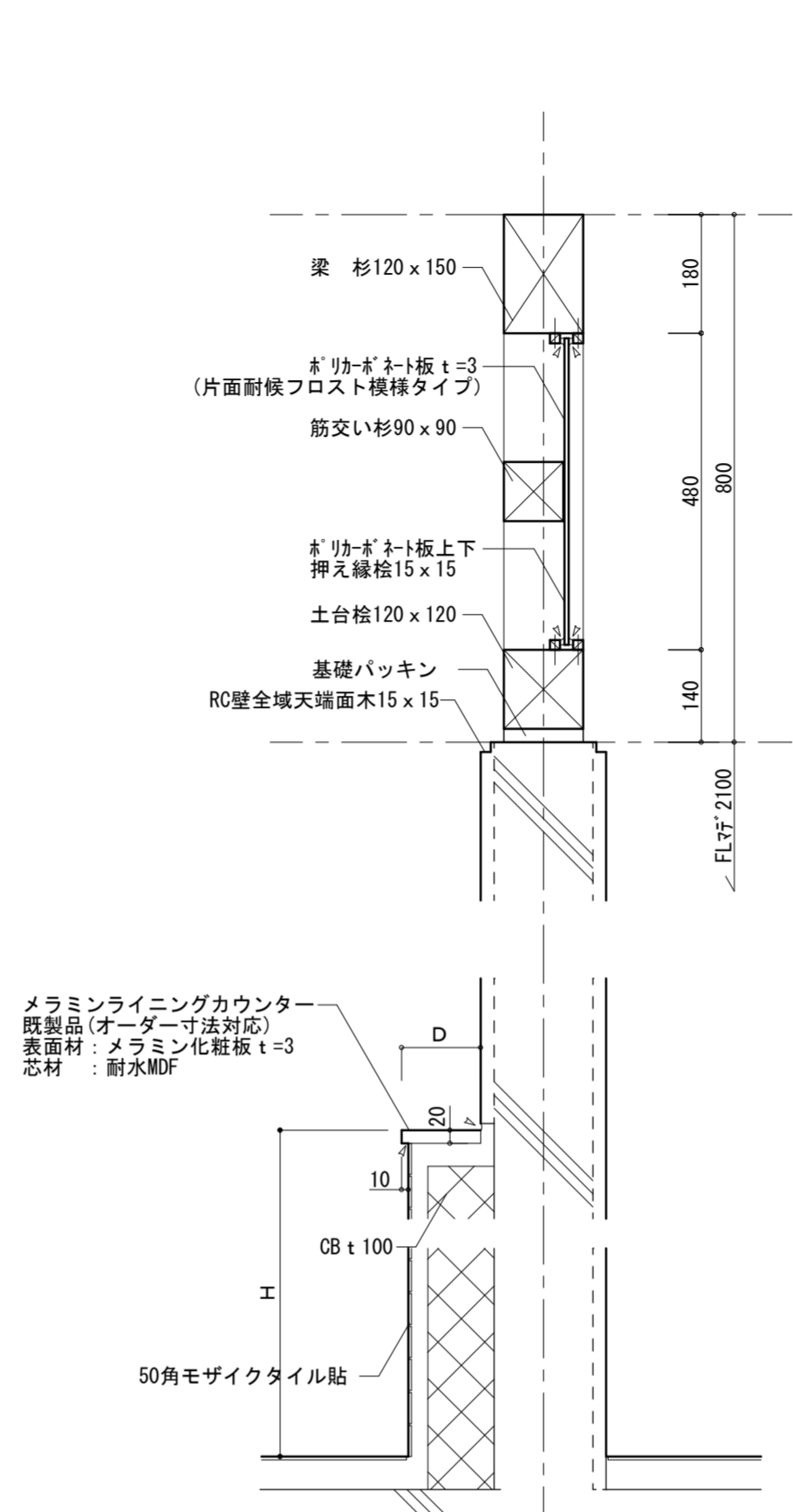
管理扉収納間仕切詳細図

S = 1 : 20



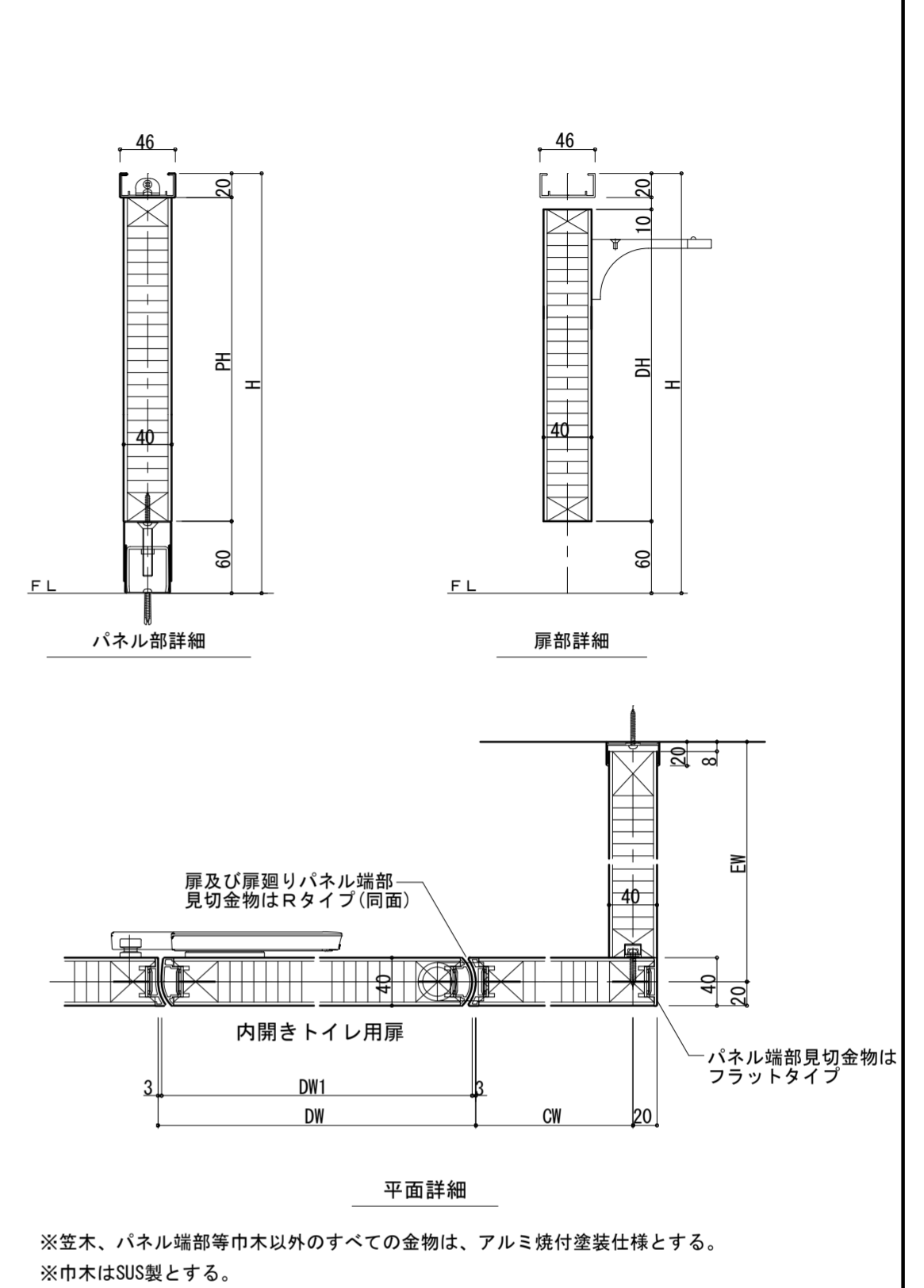
目隠しランマ・面台廻り詳細図

S = 1 : 10



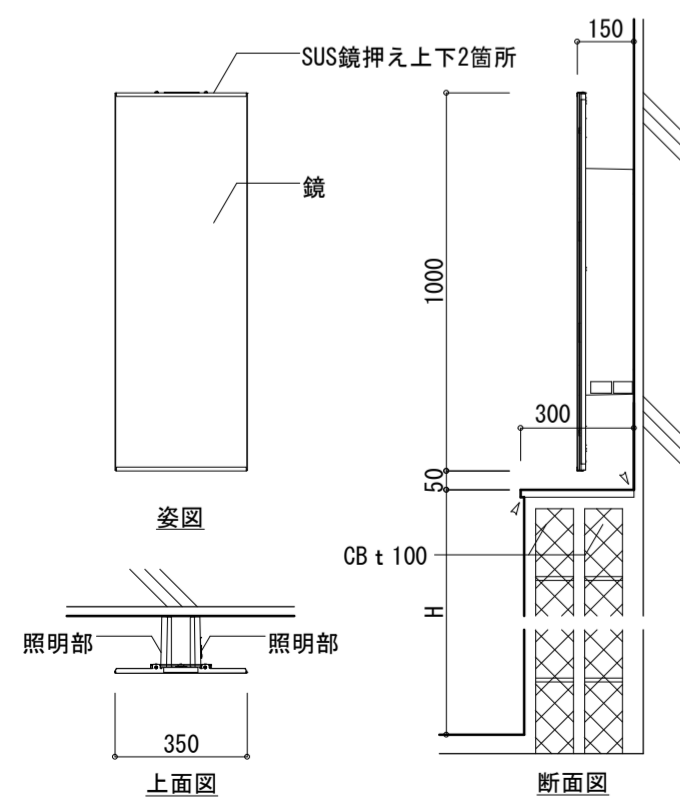
トイレブース詳細図

S = 1 : 5



鏡(間接照明タイプ)及び面台詳細図

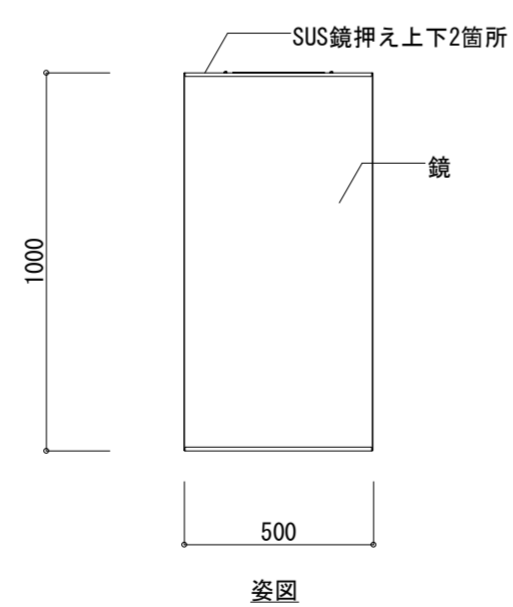
S = 1 : 20



既製品鏡 (間接照明タイプ)
 ・本体 W350 x H1000 x D150
 ・鏡 有効鏡面 350 x 980
 ・照明 LED照明
 消費電力14W 昼白色
 ・コンクリート壁固定金具共

鏡詳細図(フリーサイズタイプ)

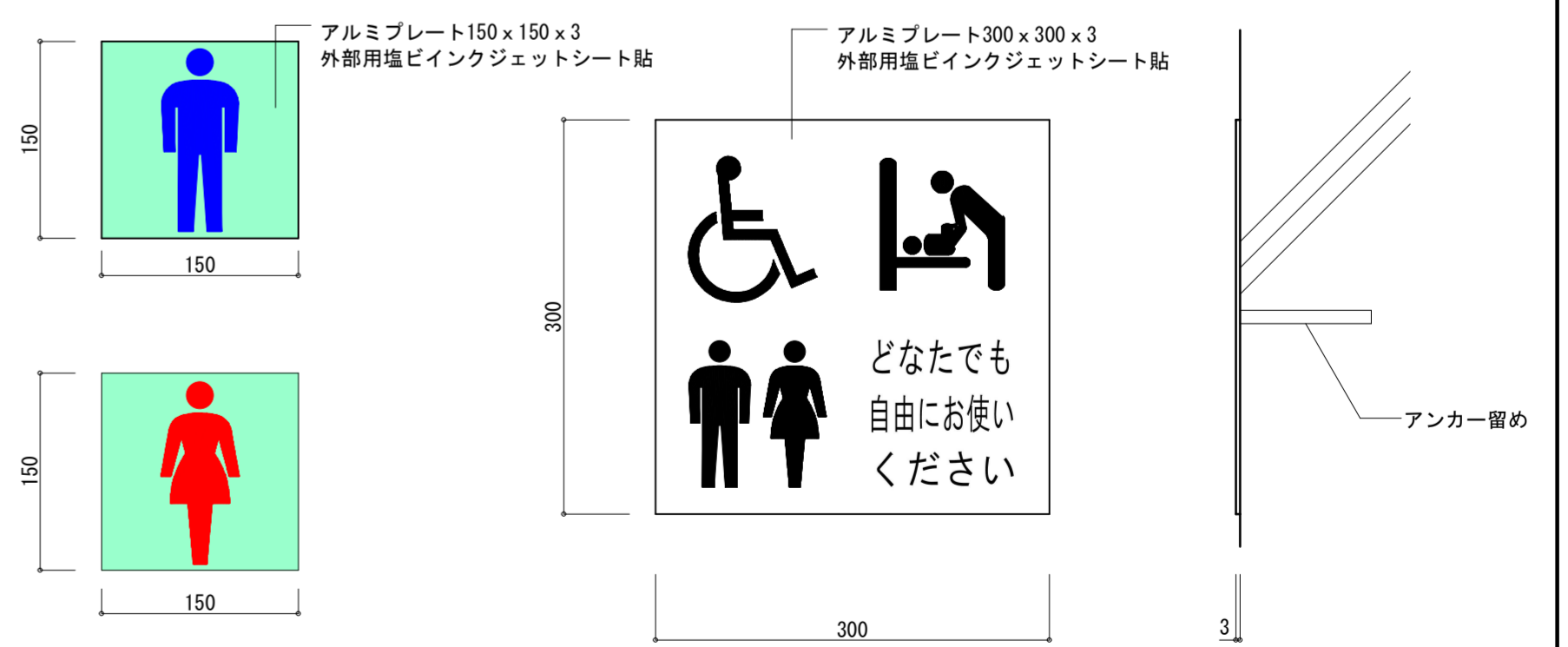
S = 1 : 20



既製品鏡 (フリーサイズタイプ)
 ・本体 W500 x H1000 x D11
 ・鏡 有効鏡面 500 x 980
 ・コンクリート壁固定金具共

ピクトサイン詳細図

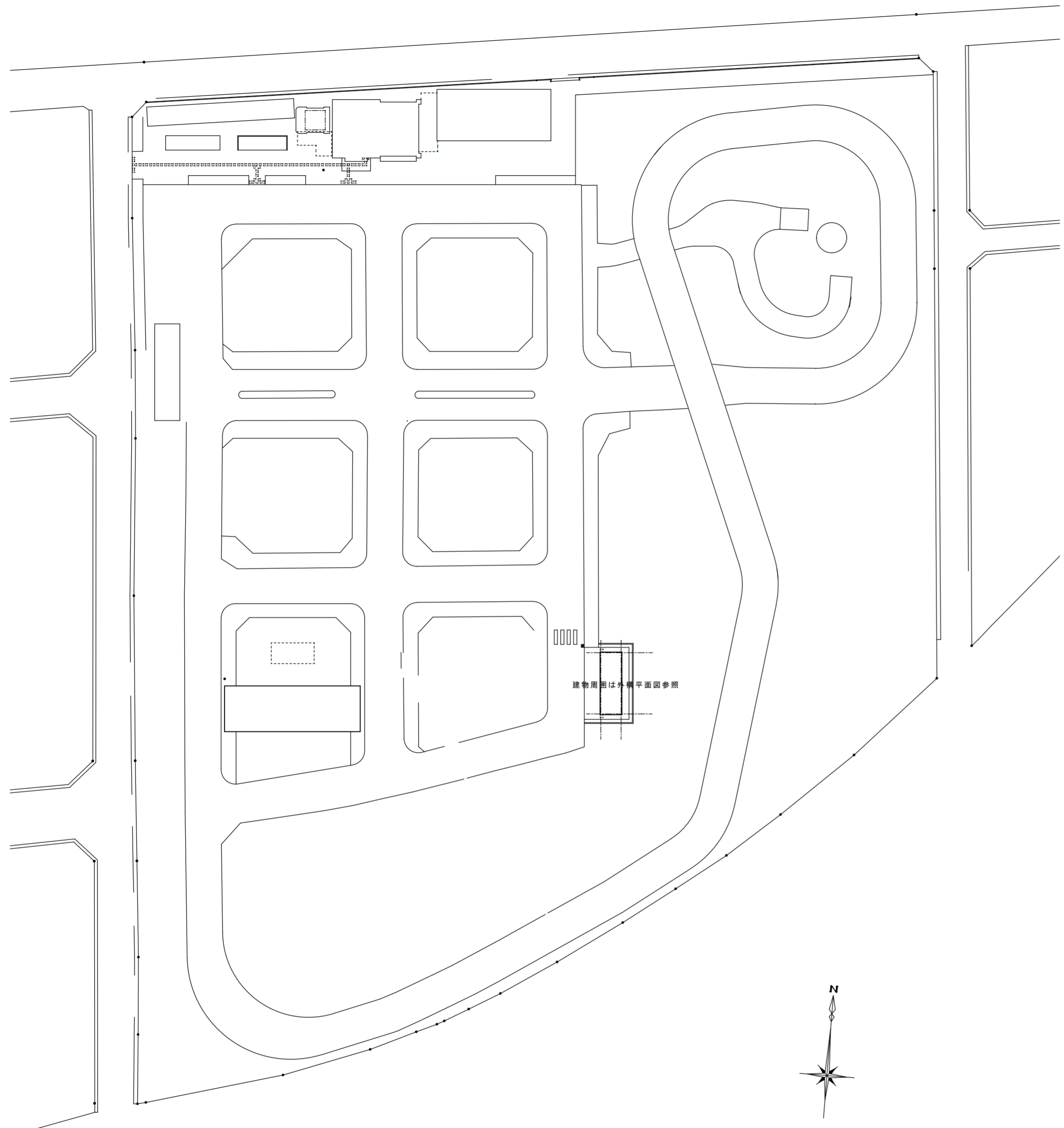
S = 1 : 5



アルミプレート150 x 150 x 3
 外部用塩ビインクジェットシート貼

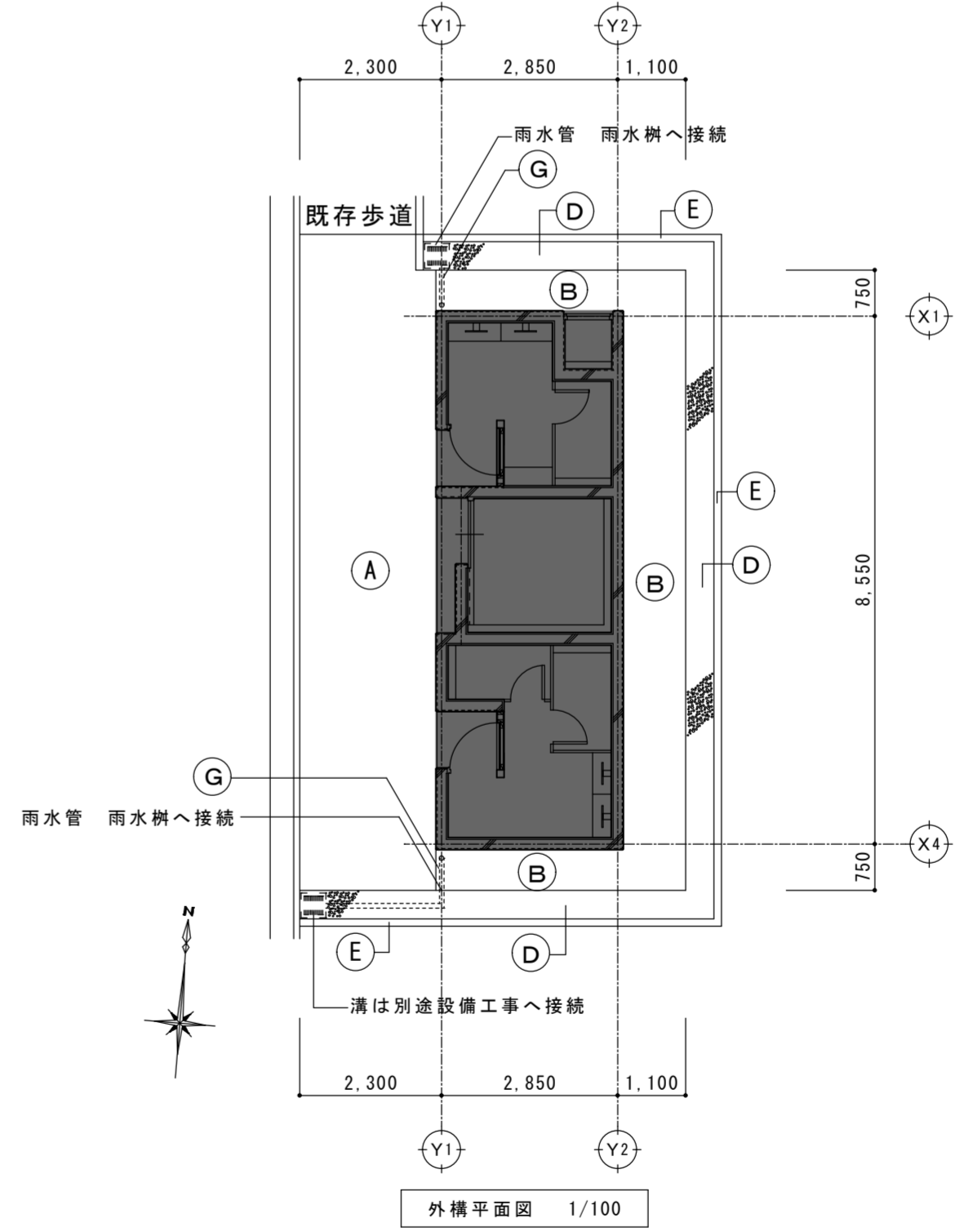
アルミプレート300 x 300 x 3
 外部用塩ビインクジェットシート貼

工事名	交通安全子どもセンタートイレ改築工事	松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO	A - 18
図面名	部分詳細図		SCALE	1/50
用紙サイズによる縮尺補正値	A2 : 100% A3 : 70.7%	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto

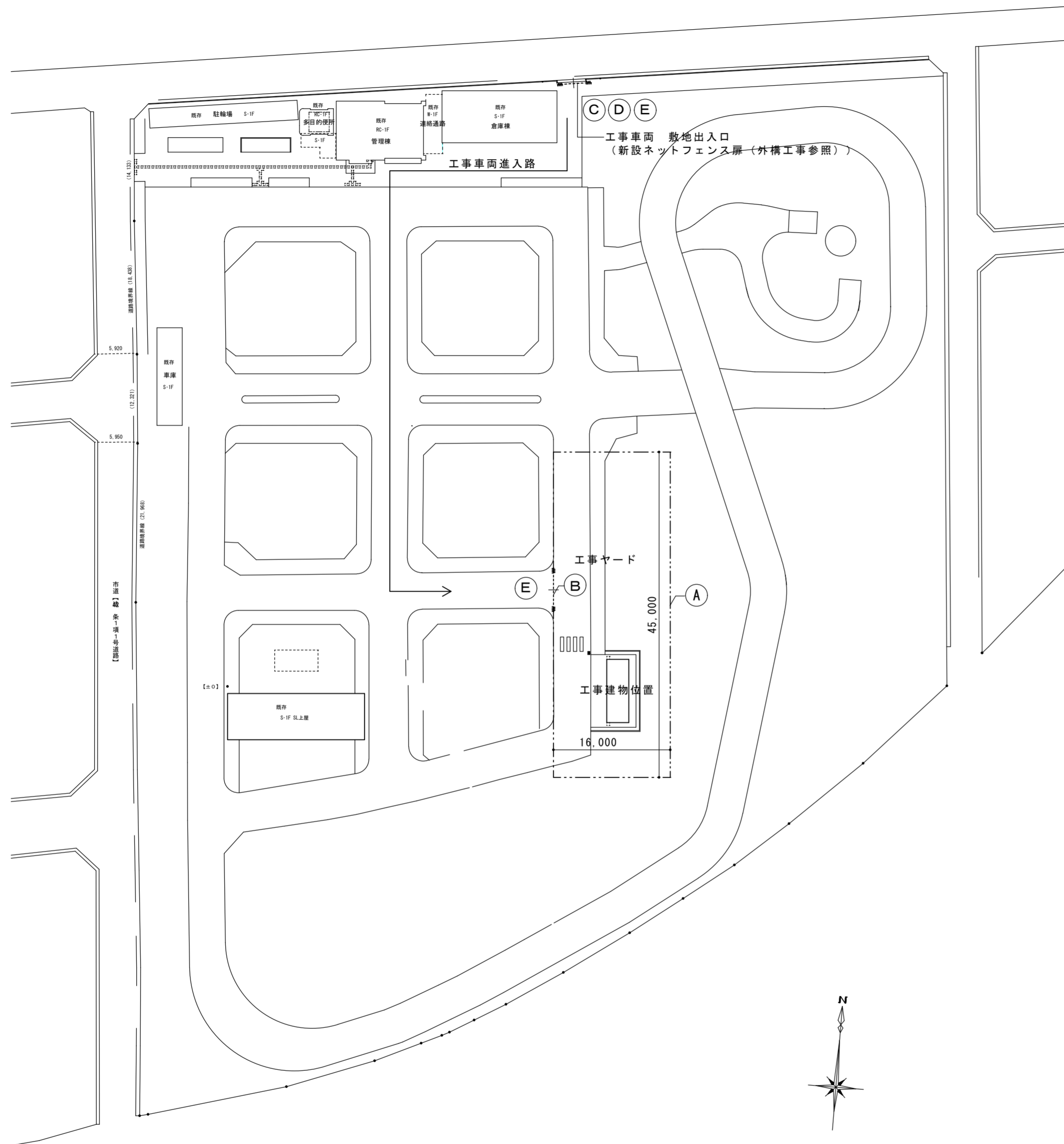


外構配置図 1/500

外構工事リスト	
(A)	コンクリート洗出し t=120 カッター目地入@1800桁コ共 (ワイヤメッシュφ6×100×100、砕石 t=100共) [23.2m ²]
(B)	コンクリート土間 t=120金コ押え V目地切@1800程度 (D10@200桁コシク'ル、砕石 t=100共) [15.5m ²]
(C)	—
(D)	大栗石敷き (砂岩φ150~200程度) W460 H120~200程度 [21.5m]
(E)	コンクリート縁石 120×120×600 [22.9m] 建築工事標準詳細図9-11-7
(F)	—
(G)	雨水排水管 [3.7m]



外構平面図 1/100



仮設計画図 1/500

仮設計画リスト	
Ⓐ	仮囲い：成形鋼板 H2000 122m
Ⓑ	パネルゲート W6300 H4500 1箇所
Ⓒ	既存フェンス仮撤去（再利用目的）H=1,000 2スパンL=4,000 既存フェンス支柱 1本 撤去処分（GL部で切断共） 工事後フェンス再設置 新設支柱 1本（コア削孔共）
Ⓓ	パネルゲート W=4,000 H=4,500 1箇所
Ⓔ	交通誘導員 計90人日

※ 車両置場、仮設範囲、建築副産物置場、揚重機械の据付場所などを記載した総合仮設計画を提出し、監督職員と事前に協議の上、承認を得ること。

※ 車両の出入りは、原則9:30以前、16:30以降に行うこと。
やむを得ず、上記時間外の車両出入りが想定される日は、事前に施設管理者と協議を行うこと。
土日の作業は、原則行わないこと。

工事名	交通安全こどもセンタートイレ改築工事		
図面名	仮設計画図		
CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto

松本琢史建築設計事務所
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

NO	A - 20
SCALE	1/500